

## 第九回 さがみ縦貫危険物処理に関する有識者委員会

日時 平成16年2月6日(金)

午前12時30分～午後4時(午前12時30分～午後2時は現地調査)

場所 橋脚工事現場並びに掘削残土仮置き場

(午前12時30分～午後2時：現地調査)

寒川町南部文化福祉会館2F会議室(1)・(2)

(午後2時～午後4時：委員会)

### 議事次第

#### 1. 現地視察

#### 2. 有識者委員会

##### 1-1 開会

##### 1-2 議事

##### (1) 資料説明

項目	概要
1. 橋脚工事現場(P28～P30区間)における掘削調査について	<ul style="list-style-type: none"><li>掘削調査の概要</li><li>発見された不審物</li><li>北側ブロック(P29～P30区間)の土質</li><li>北側ブロック(P29～P30区間)の掘削調査</li><li>掘削土壌の取扱</li><li>テント排気のモニタリング</li></ul>
2. 掘削残土仮置き場(田端)の状況について	<ul style="list-style-type: none"><li>分離作業の状況</li><li>発見された不審物</li><li>無害化処理設備の状況</li></ul>
3. その他	<ul style="list-style-type: none"><li>広報について</li></ul>

##### (2) 審議

##### (3) 閉会

##### 1-3. 記者会見

#### 3. マスコミ対応

現地地視察ならびに委員会「資料説明」までオープン会議終了後(午後5時をめぐり)記者会見を実施

「第九回さがみ縦貫危険物処理に関する有識者委員会」名簿

氏 名	職 名
山里 洋介	前陸上自衛隊化学学校校長
白石 寛明	独立行政法人国立環境研究所 化学物質環境リスク研究センター 曝露評価研究室長
田中 勝	岡山大学大学院自然科学研究科教授 (元国立公衆衛生院廃棄物工学部長)
浅利 靖	弘前大学医学部救急災害医学講座教授(欠席) (前北里大学医学部救命救急医学講師)
輿 重治	中央労働災害防止協会参与 (元産業医学総合研究所長)
オブザーバー 村山 正和 (小松 義次)	神奈川県防災局長(欠席) (神奈川県防災局応急対策担当課長)
塩川 実喜夫 (青木 壽治)	神奈川県警察本部警備部長(欠席) 神奈川県警察本部警備部災害対策課長
(舩水 勇)	寒川町助役(欠席) (寒川町町民部長)

# 第9回

## さがみ縦貫危険物処理に関する

### 有識者委員会

---

### 説明資料

国土交通省関東地方整備局  
横浜国道事務所

# これまでの委員会決定事項に関する具体案の報告について

## (1) 橋脚工事現場(P28～P30区間)における掘削調査について

- ① 掘削調査の概要
- ② 発見された不審物
- ③ 北側ブロック(P29～P30区間)の土質
- ④ 北側ブロック(P29～P30区間)の掘削調査結果
- ⑤ 掘削土壌の取扱い
- ⑥ テント排気のモニタリング

## (2) 掘削残土仮置き場(田端)の状況について

- ① 分離作業の状況
- ② 発見された不審物
- ③ 無害化処理設備の状況

## (3) その他

- ① 広報について



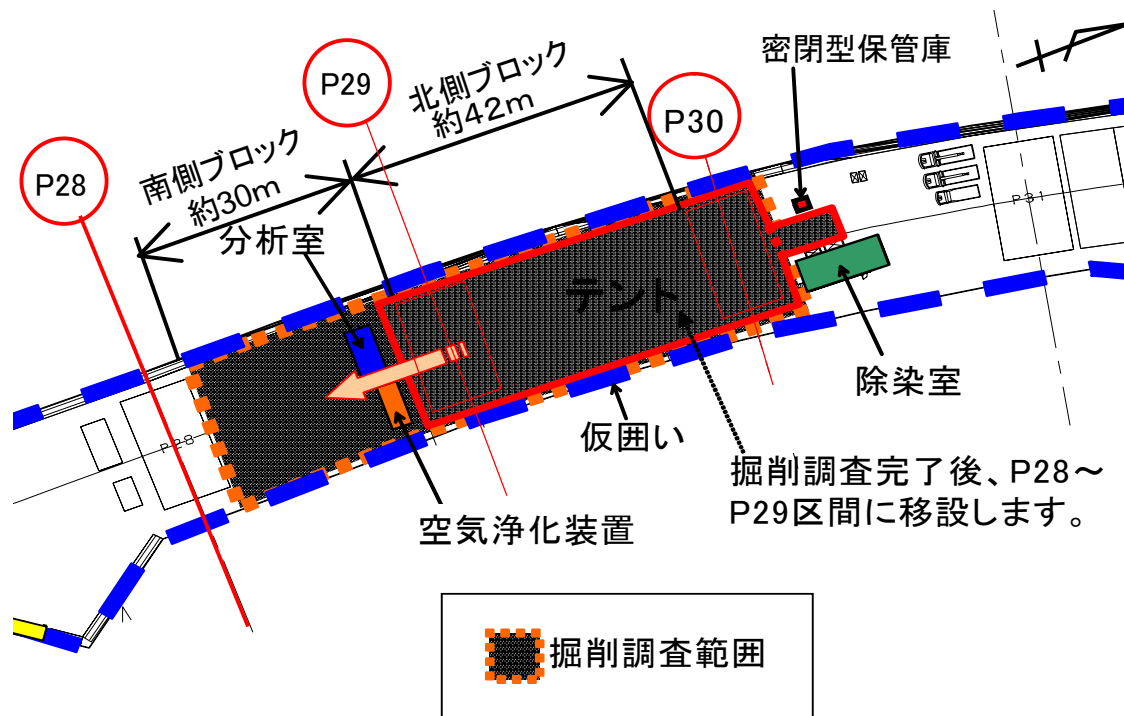
**(1) 橋脚工事現場(P28～P30区間)**

**における掘削調査について**

# (1)一① 掘削調査の概要

さがみ縦貫道路橋脚工事現場(P28～P30区間)において、平成15年11月21日(金)より掘削調査を実施。

現在、北側ブロック(P29～P30区間)を調査中。



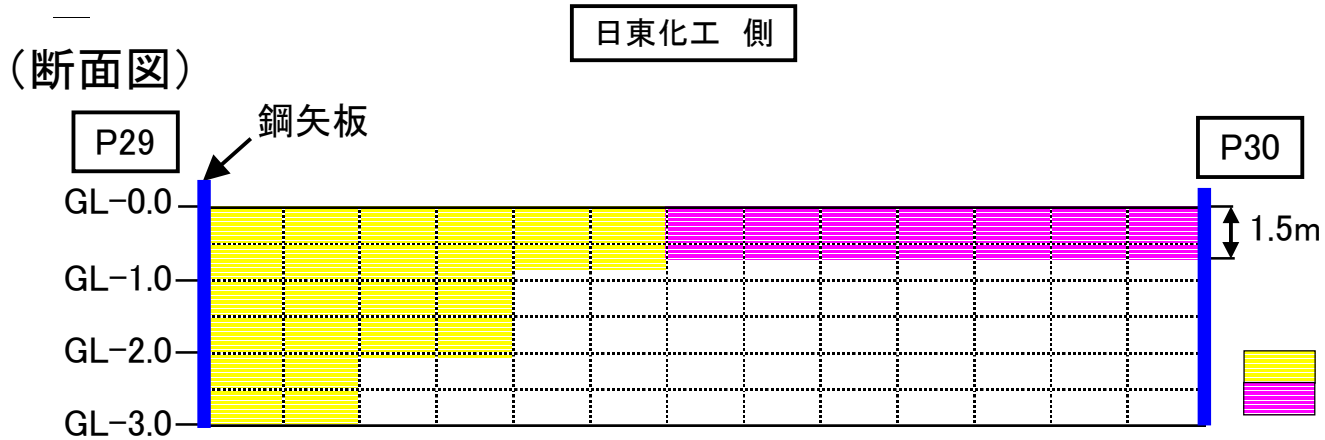
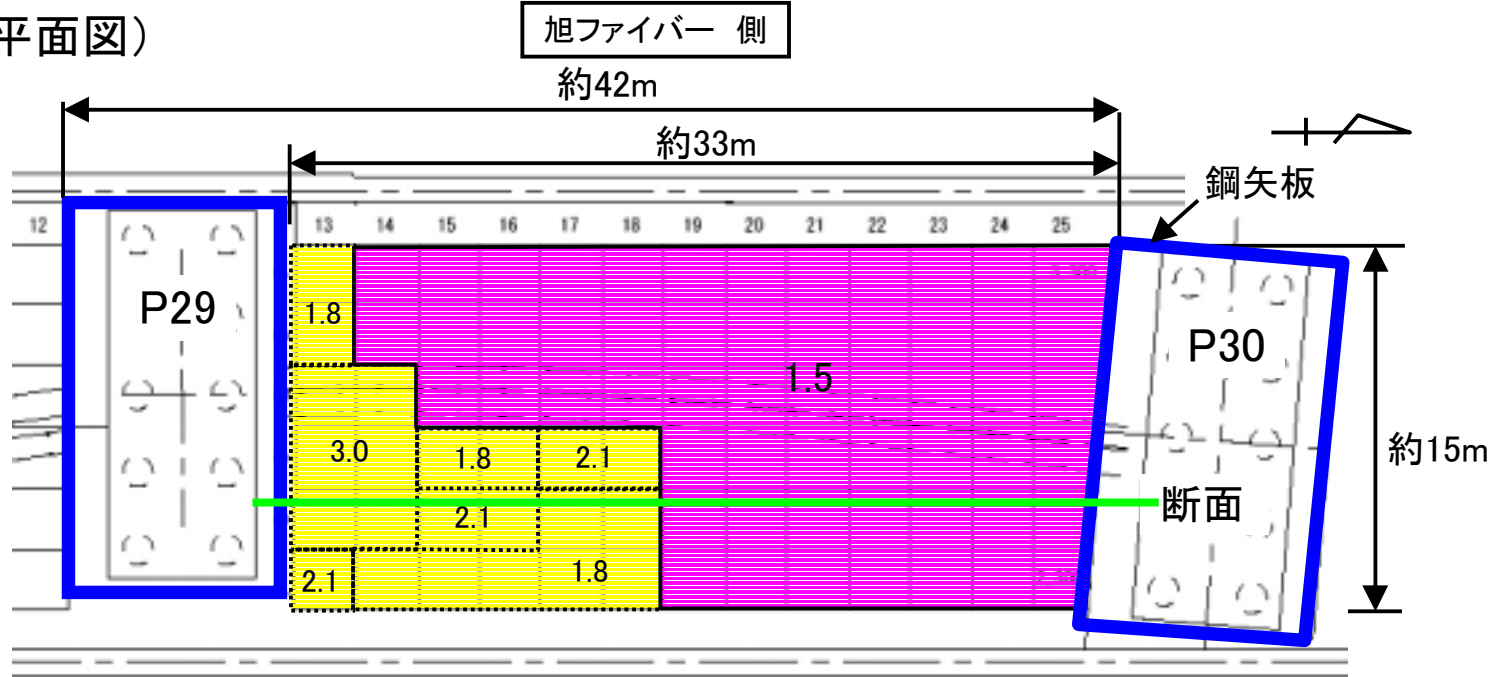
掘削調査の範囲



掘削調査の状況

# (1)一① 掘削調査の概要

■北側ブロック(P29～P30区間)の作業進捗状況(平成16年2月5日現在)  
(平面図)



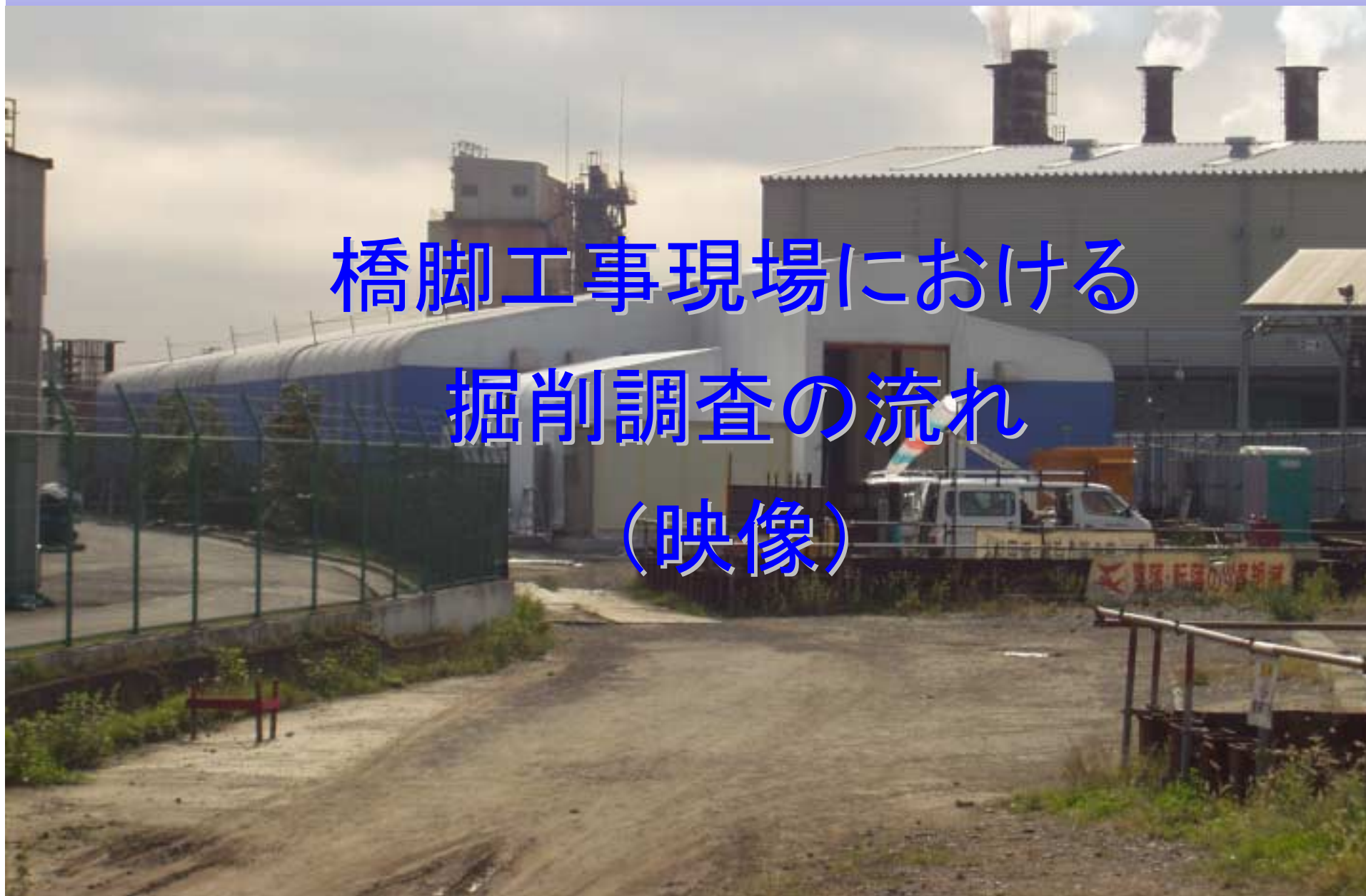
発見された不審物の本数  
156本  
(平成16年2月5日現在)

※平面図中の数字は掘削深度(m)を示す。

: 人力掘削  
 : 機械掘削

# (1)一① 掘削調査の概要

橋脚工事現場における  
掘削調査の流れ  
(映像)





# (1)一②発見された不審物

## ■掘削調査中に発見された不審物一覧

平成16年2月5日現在

内容物の状態	内容物の色	本数	備考
固形物	やや黄色みを帯びた白色	40	
	黒色	3	
	その他	—	3
液体	黒色	60	
	透明(黒色沈殿物)	30	黒い固形物が混入
	その他	—	13
	黒色	7	内容物が2層に分離
	透明・薄茶色等		

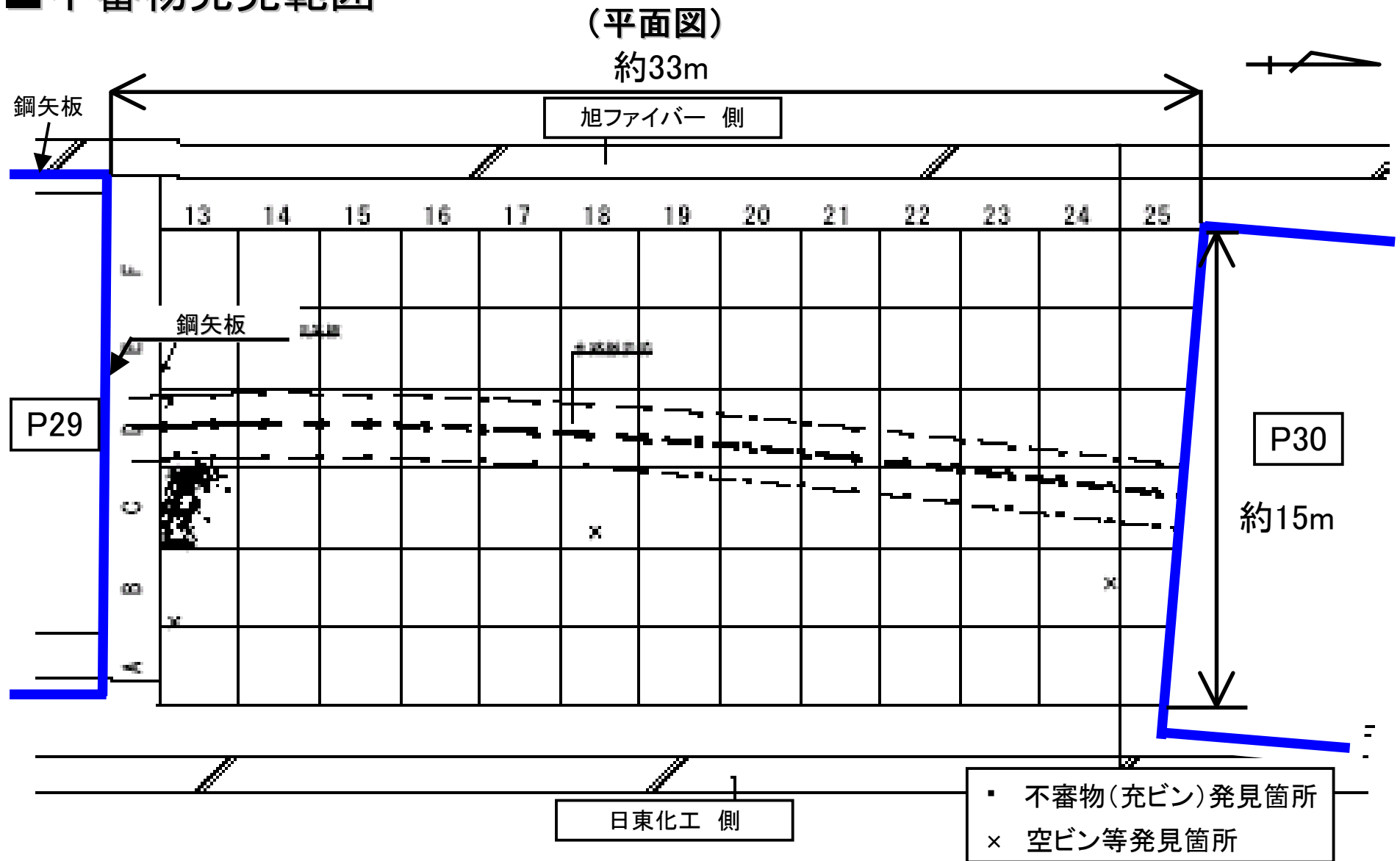
計:156本

※掘削調査開始(H15年11月21日～)

- ・不審物(充ビン)の内155本はビール瓶、1本は薬品ビンに入った形で発見。
- ・不審物(充ビン)の内144本はゴム状の栓等で密閉。12本は詮無し。

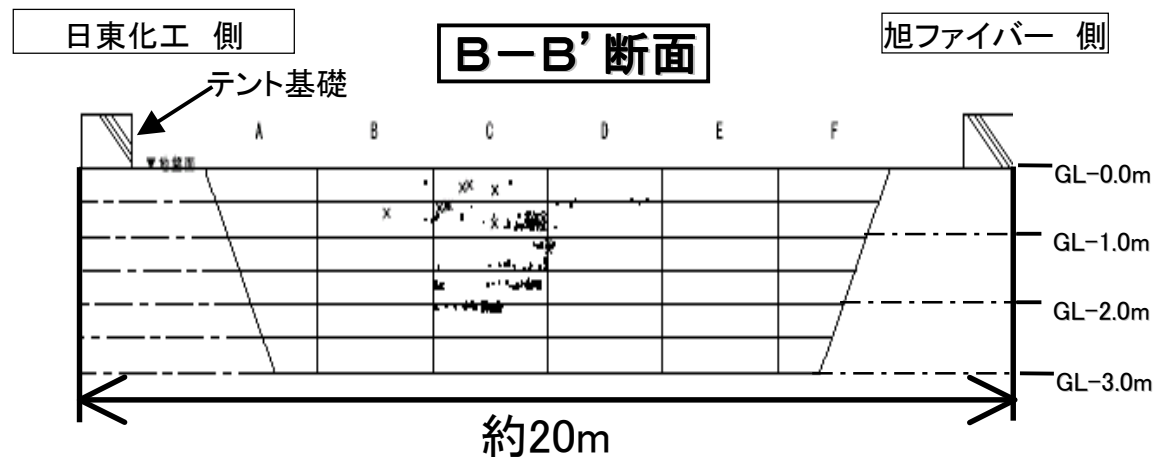
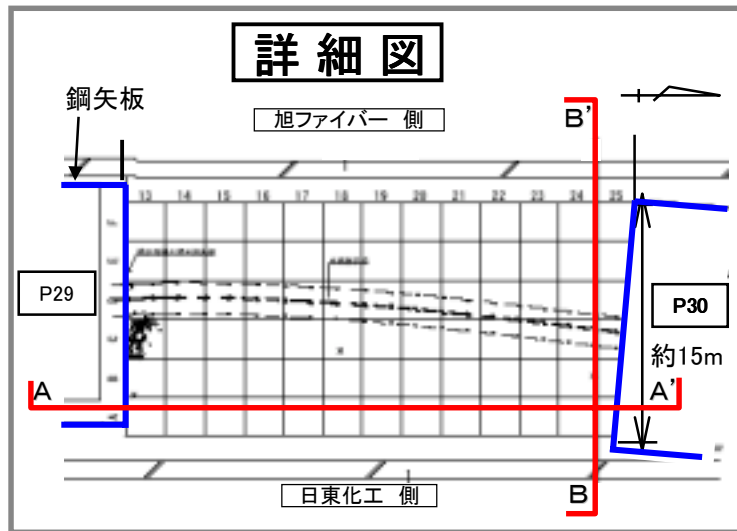
# (1)一②発見された不審物

## ■不審物発見範囲

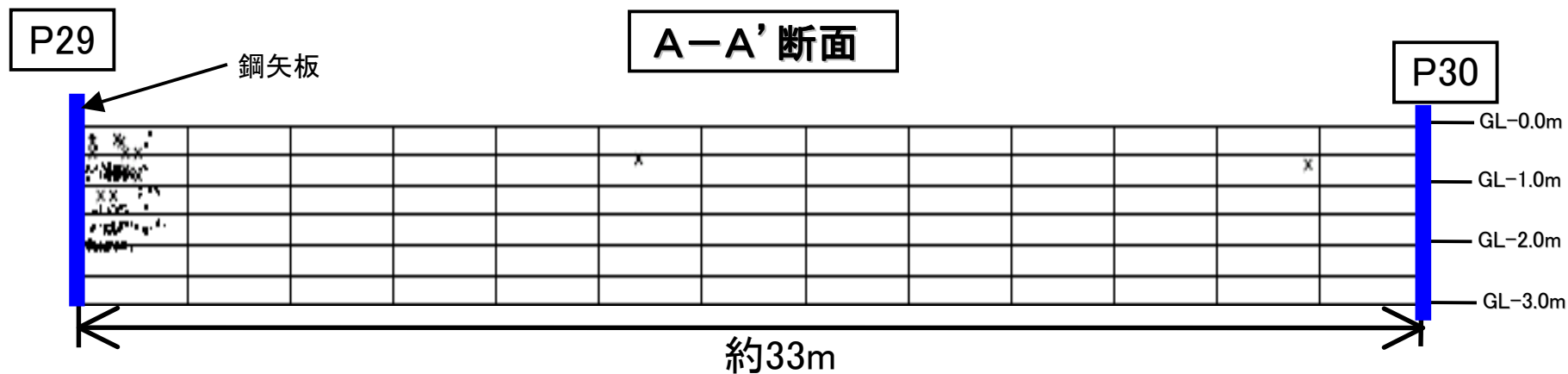


# (1)一②発見された不審物

## ■不審物発見範囲



- 不審物(充ビン)発見箇所
- × 空ビン等発見箇所



# (1)一②発見された不審物

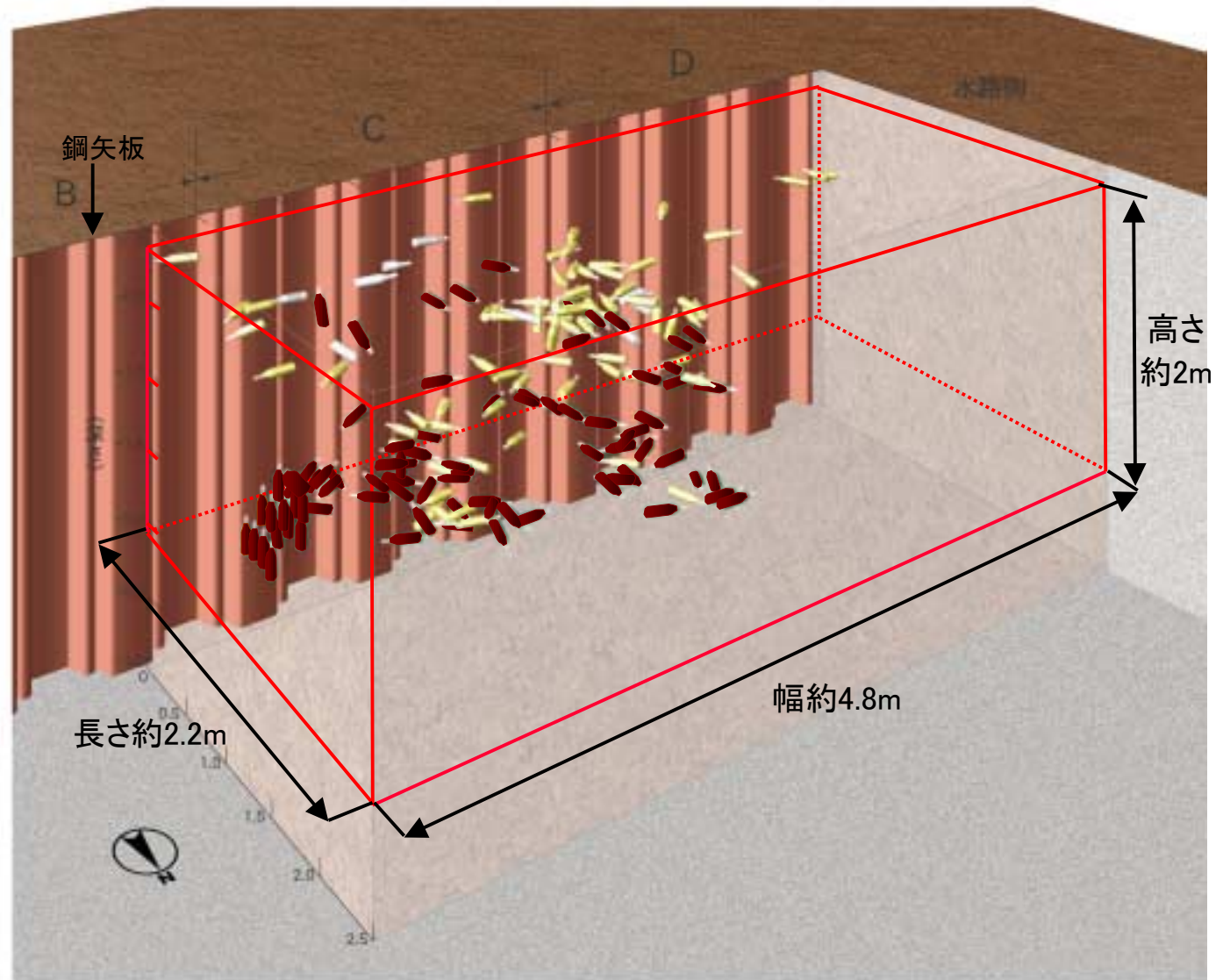
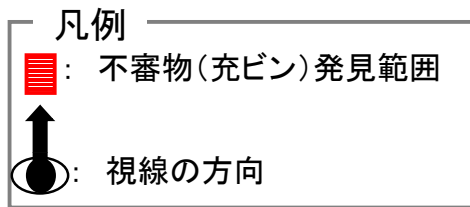
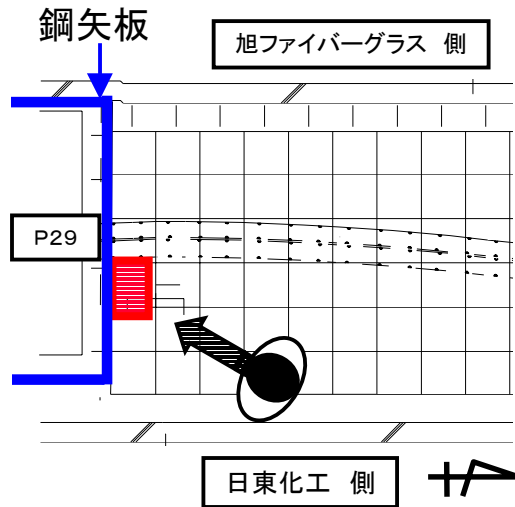
## ■不審物の発見状況(7層目:GL-1.8m~GL-2.1m)



7層目から不審物(充ビン)44本を発見

# (1)一②発見された不審物

## ■不審物の発見範囲の拡大図(斜め上から南西方向への視線)



# (1)ー③北側ブロック(P29～P30区間)の土質

## ■土質調査概要

不審物(充ビン)発見場所の地盤構成上の特性を把握するため、北側ブロック(P29～P30区間)において土質調査を実施(下図)。

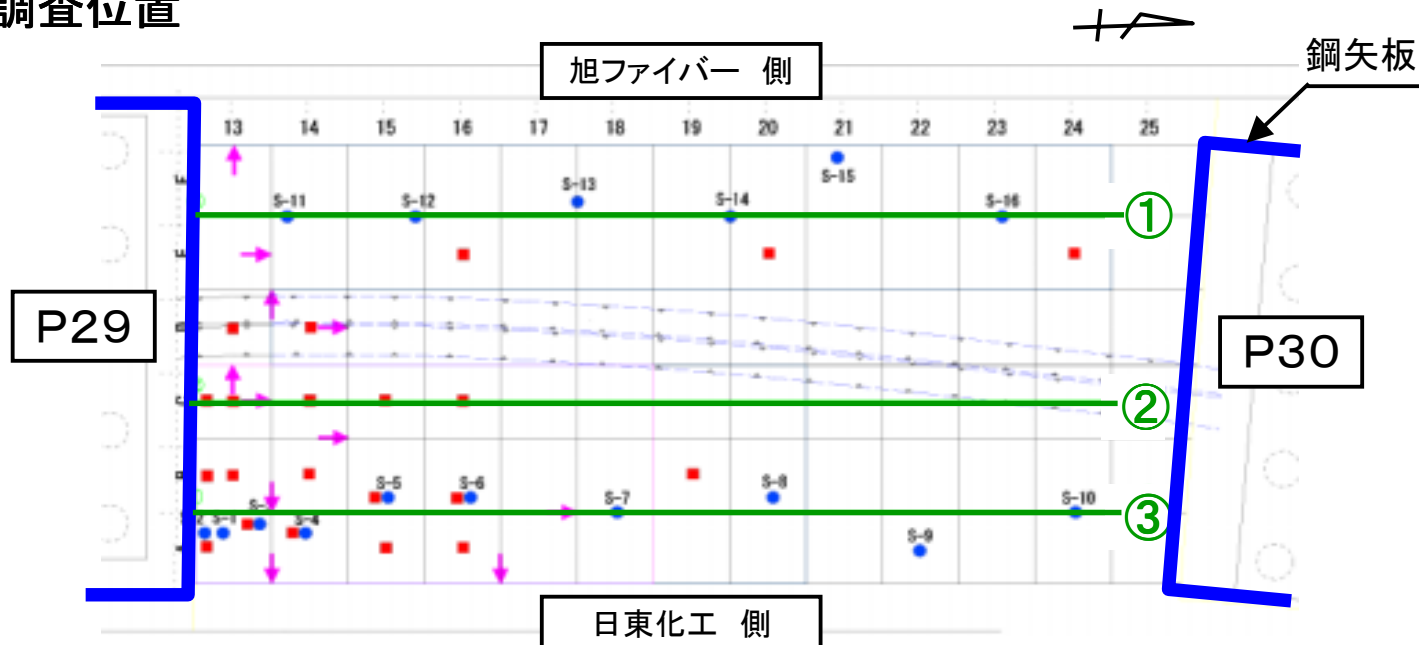
### ・土質調査方法

- 1) スウェーデン式サウンディング試験 16箇所  
→地盤の硬軟の確認
- 2) 試料採取及び土質判定 21箇所  
→観察による土質の判定

### 凡例

- : スウェーデン式サウンディング試験
- : 試料採取及び土質観察地点
- : 土質断面図測線(推定)

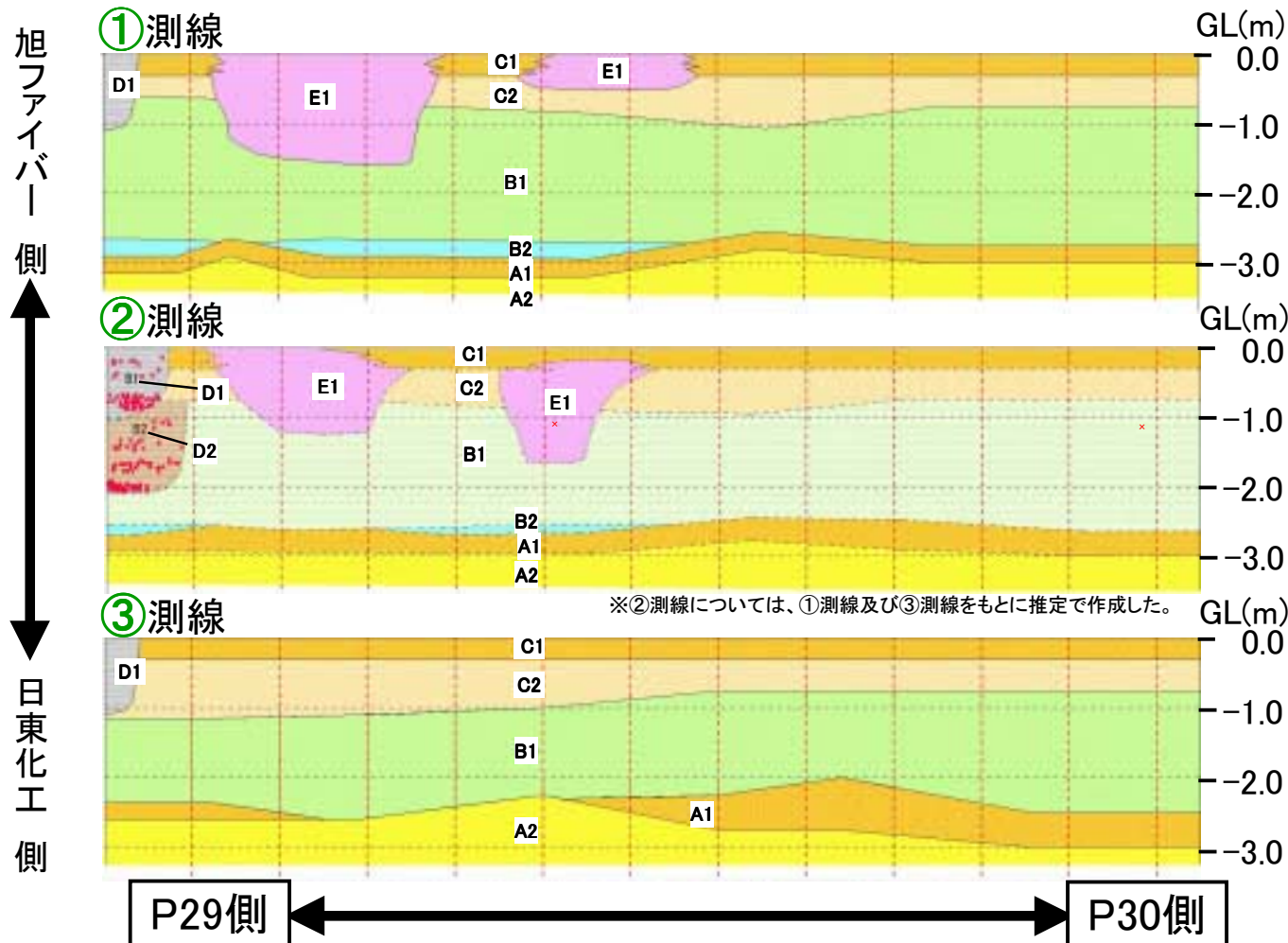
### ・土質調査位置



# (1)ー③北側ブロック(P29～P30区間)の土質

## ■土質調査結果(各測線の土質断面図(推定))

当該地の土質は、大きく分けて、i)相模川沿いに開けた沖積低地に分布し自然堤防堆積物(主に砂質土)から形成される自然地盤の砂質土、ii)自然地盤の上に2.3～3.2m程度の厚さで広く分布し、広域的な造成等で形成された埋土層に分類。



### 凡例

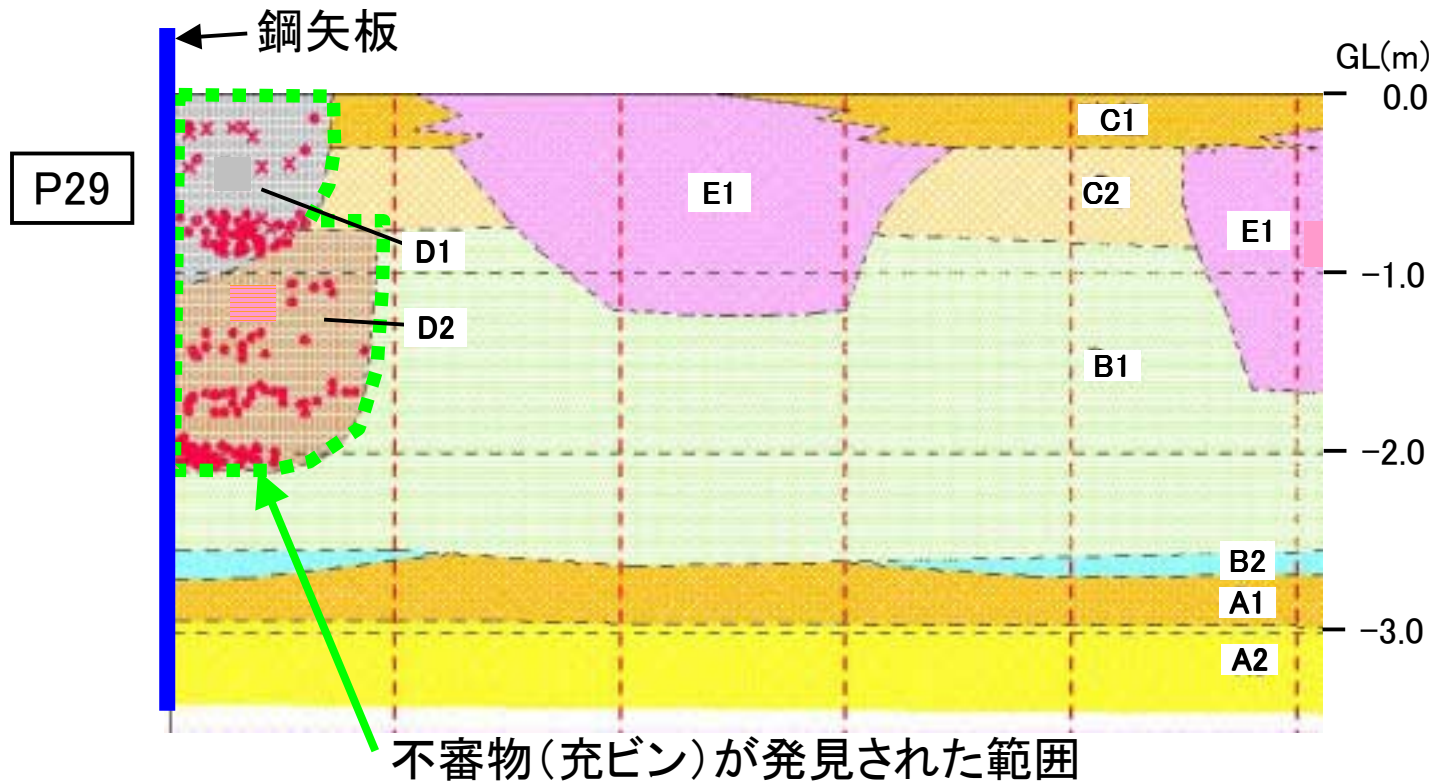
地層記号	地層名	記 事
C1	封盤	砕石、改良土(石灰)、
C2	下層路盤	φ10～40mm程度の藤絡層を混入する。砂の粒径不均一。暗褐色を呈す。
B1	埋土層(砂・ローム互層)	粒径均一な微細砂層と均質なローム質土との互層。ローム質土層の比率が高い。暗褐色を呈す。地盤造成として過去に施工された可能性。
B2	埋土層(粘性土)	粘結質なローム質土からなる。水割裏側で確認されている。暗褐色を呈す。
A1	沖積砂質土層(ゆるい)	粒径やや不均一な細砂からなる。暗褐色を呈す。
A2	沖積砂質土層(かたい)	主に砂質土から成る自然堤防堆積層。
D1	埋土層①	P29奥板沿いに分布する。ローム質土を主体とするが、砕石、改良土の塊等が混入する。比較的最近埋められた層。
D2	埋土層②	腐や砂分を混入する不均質なローム質土からなる。厚さにかかわらず異なり、過去に埋められたと考えられる層。
E1	廃棄物	ビニール、ゴム等の燃焼物を主体とする。黒色及び黄褐色を呈す。

凡例

- = 充ピンを示す
- ✕ = 空ピン又は破片を示す

# (1)ー③北側ブロック(P29～P30区間)の土質

## ■土質調査結果(②測線のP29近接部分の土質断面図(推定))



これまでに不審物が発見された場所の地層

- 1) D1層：鋼矢板設置時に、P29橋脚工事の掘削土により埋め戻された層（砕石、改良材の塊が混入）
- 2) D2層：広く分布するB1層と明らかに異なる過去に埋め戻されたと考えられる層（砕石や砂分が不均質に混入）

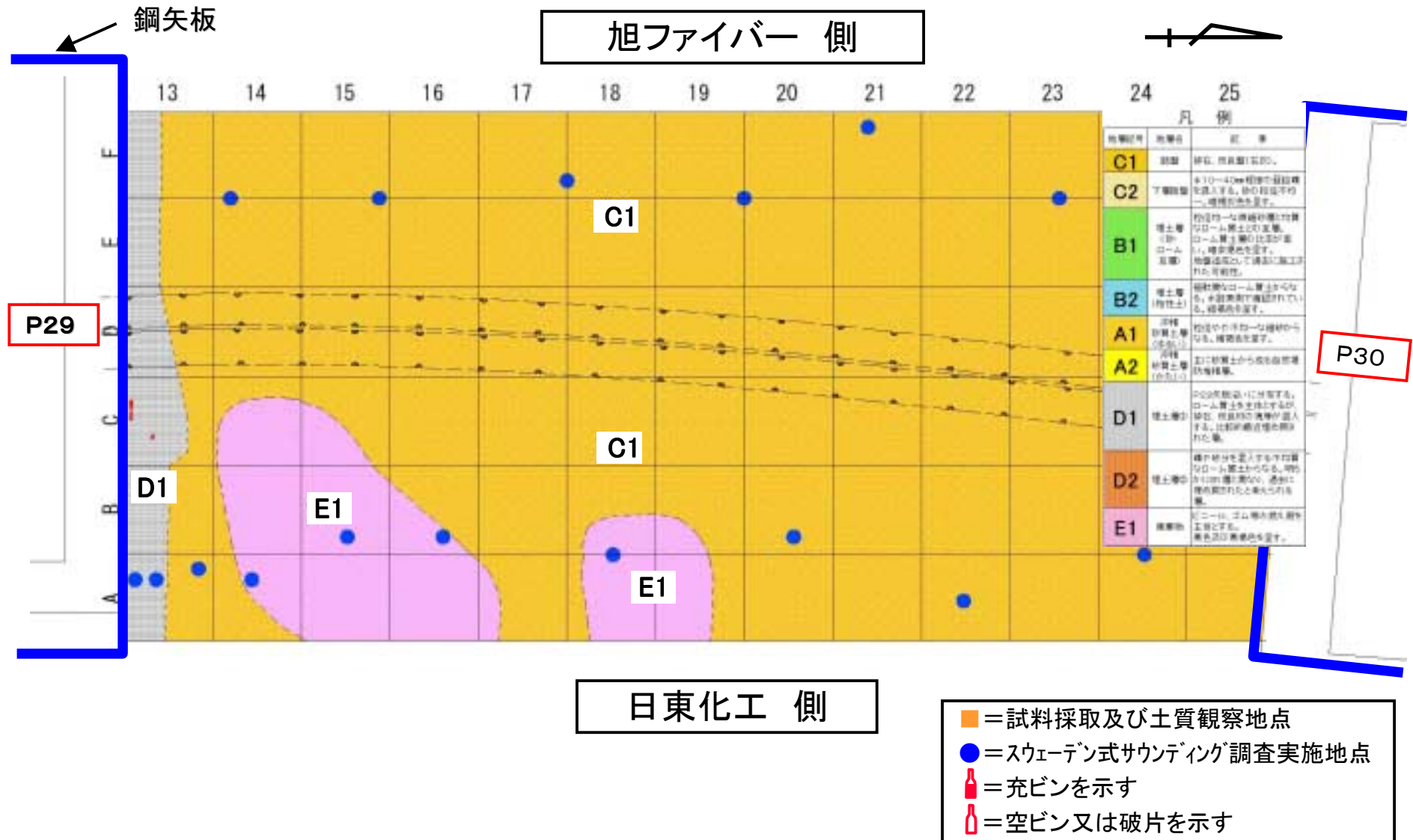
凡 例		
地層記号	地層名	記 事
C1	路盤	砕石、改良層(石灰)。
C2	下層路盤	φ10～40mm程度の礫石層を混入する。砂の粒径不均一、暗褐色を呈す。
B1	埋土層(砂・ローム互層)	粒径均一な無細砂層と均質なローム質土との互層。ローム質土層の比率が高い。暗褐色を呈す。地盤造成として過去に施工された可能性。
B2	埋土層(粘土土)	極軟質なローム質土からなる。水封裏側に確認されている。暗褐色を呈す。
A1	沖積砂質土層(ゆるい)	粒径やや不均一な細砂からなる。暗褐色を呈す。
A2	沖積砂質土層(かたい)	主に砂質土から成る自然堆積層。
D1	埋土層①	P29矢板沿いに分布する。ローム質土を主体とするが、砕石、改良材の塊等が混入する。比較的最近埋め戻された層。
D2	埋土層②	礫や砂分を混入する不均質なローム質土からなる。明らかにB1層と異なり、過去に埋め戻されたと考えられる層。
E1	廃棄物	ビニール、ゴム等の焼入殻を主体とする。黒色及び黒褐色を呈す。

凡 例	
●	=充ビンを示す
×	=空ビン又は破片を示す



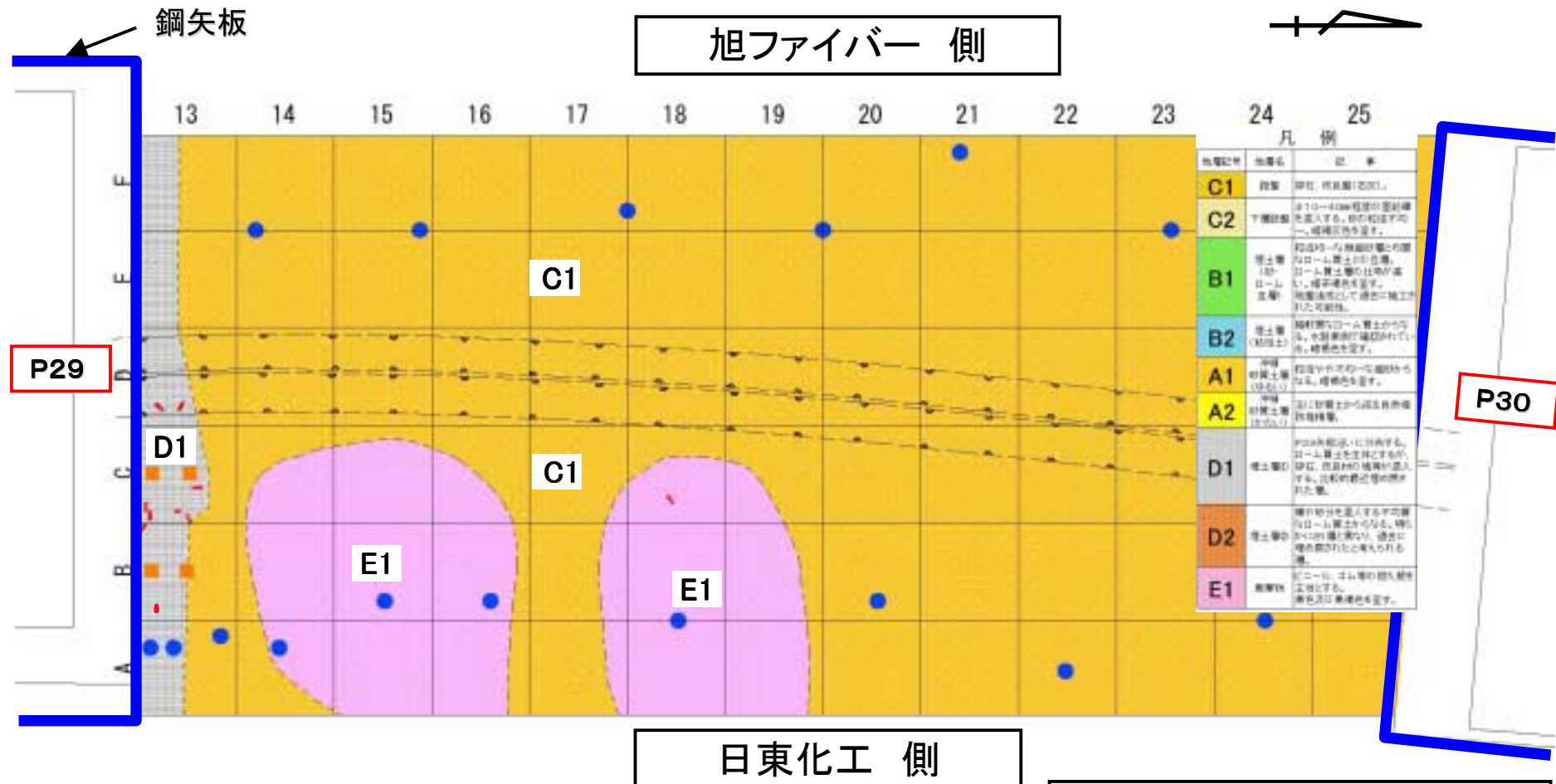
# (1)ー③北側ブロック(P29~P30区間)の土質

## ■地質平面図(推定)GL-0.0m



# (1)ー③北側ブロック(P29～P30区間)の土質

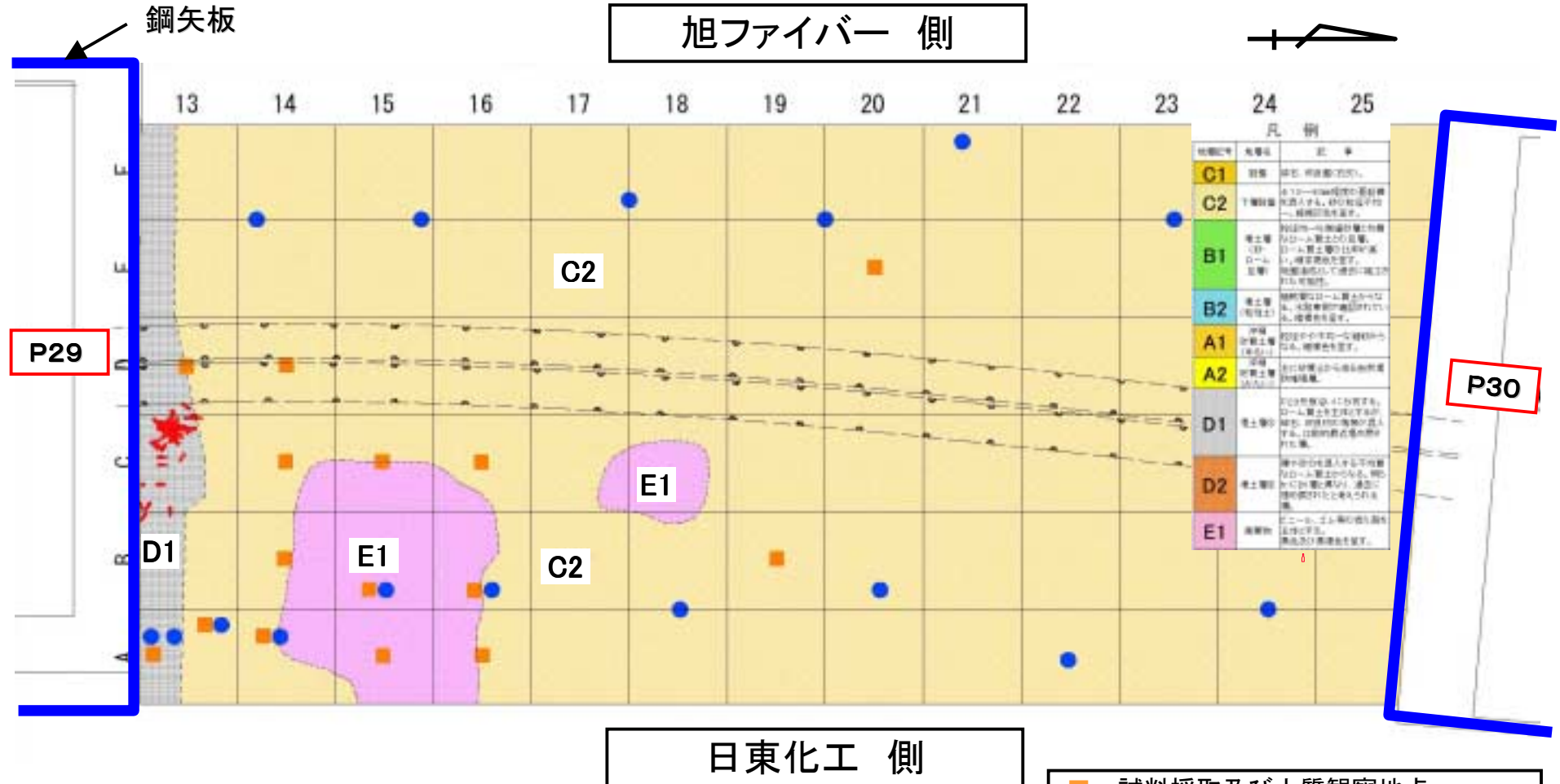
## ■地質平面図(推定)GL-0.3m



- = 試料採取及び土質観察地点
- = スウェーデン式サウンディング調査実施地点
- 🍷 = 充ビンを示す
- 🍷 = 空ビン又は破片を示す

# (1)一③北側ブロック(P29~P30区間)の土質

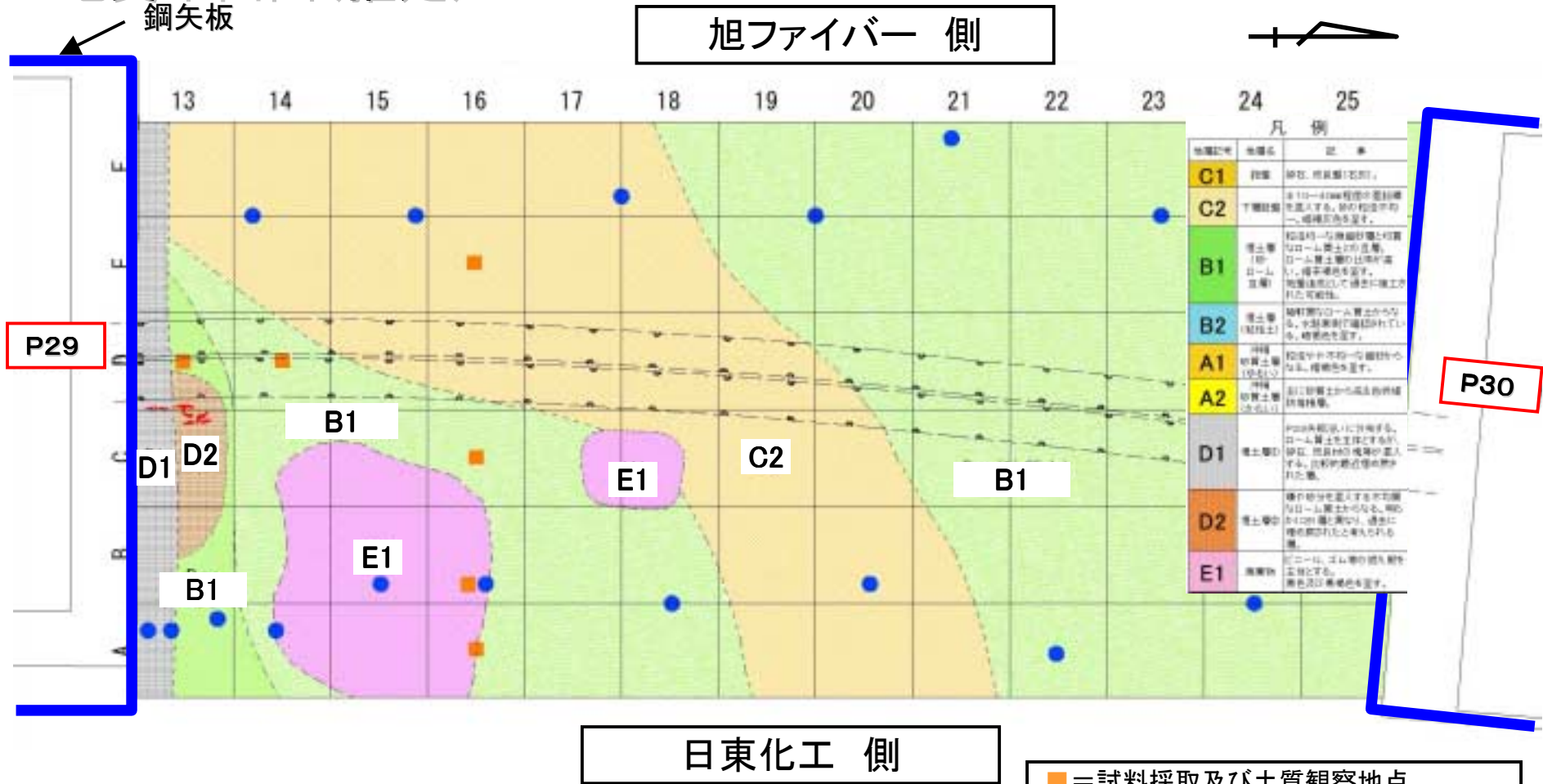
## ■地質平面図(推定)GL-0.6m



- = 試料採取及び土質観察地点
- = スウェーデン式サウンディング調査実施地点
- 🔴 = 充ビンを示す
- 🔴 = 空ビン又は破片を示す

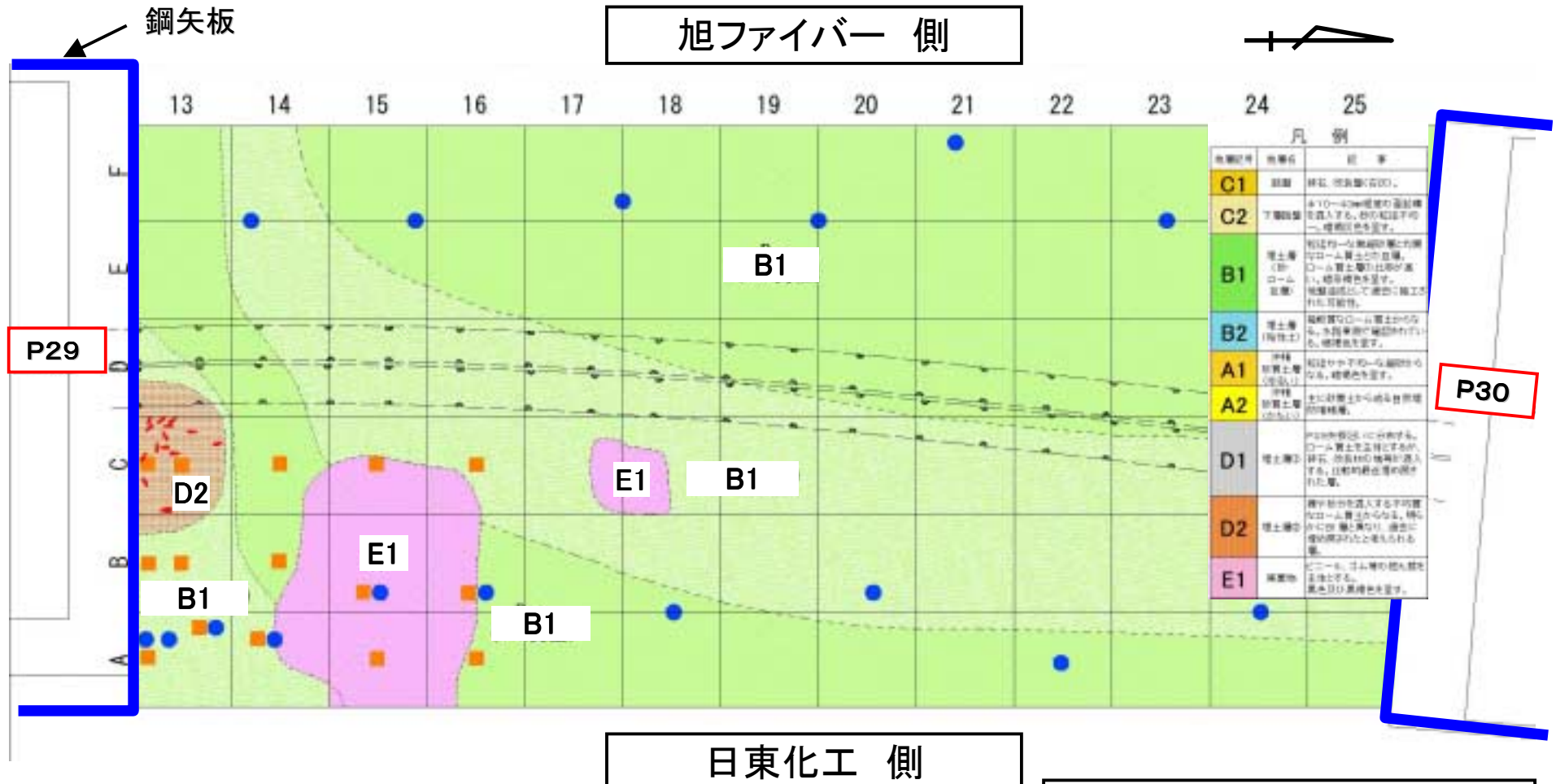
# (1)ー③北側ブロック(P29~P30区間)の土質

## ■地質平面図(推定)GL-0.9m



# (1)ー③北側ブロック(P29～P30区間)の土質

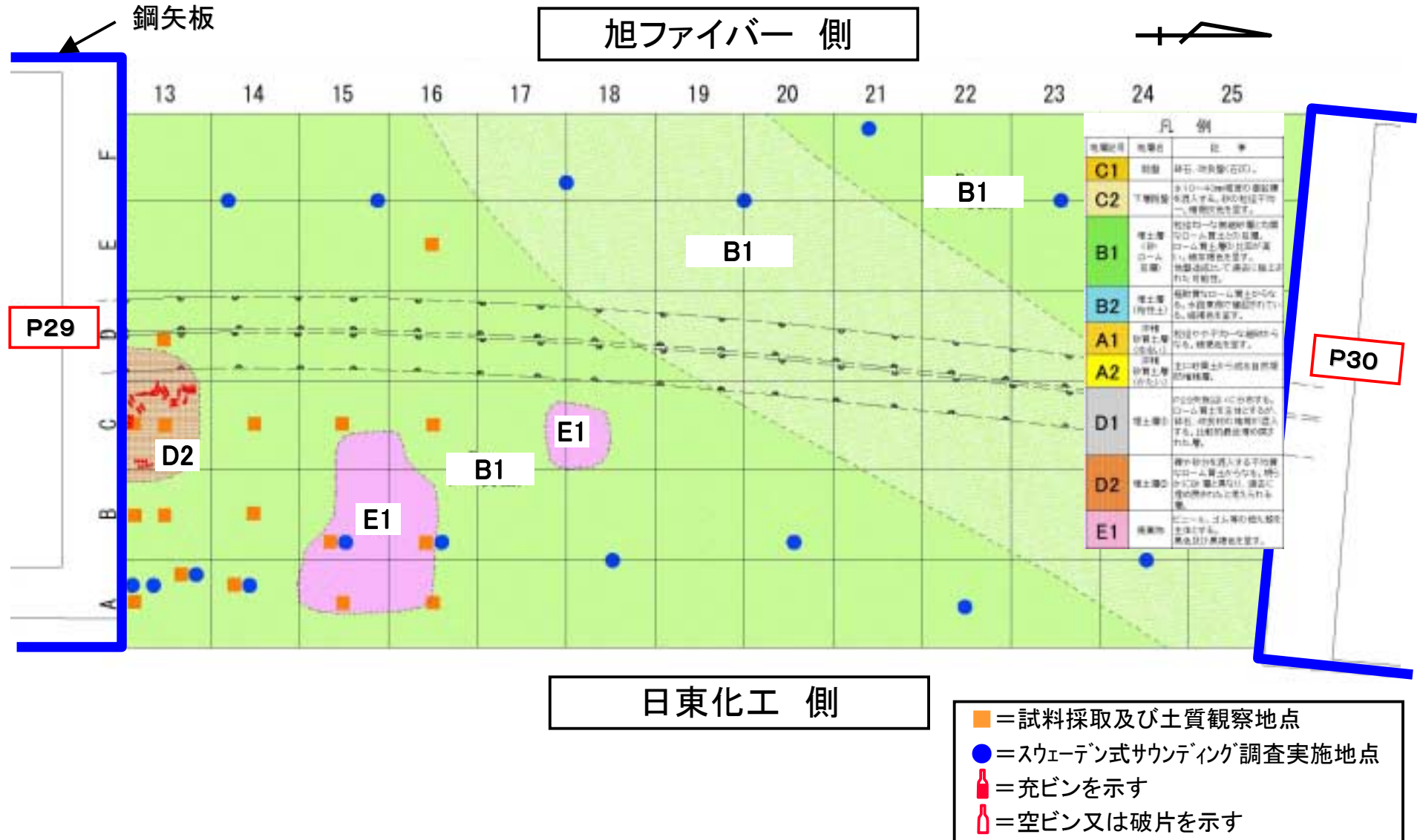
## ■地質平面図(推定)GL-1.2m



- = 試料採取及び土質観察地点
- = スウェーデン式サウンディング調査実施地点
- 🚫 = 充ビンを示す
- 🚫 = 空ビン又は破片を示す

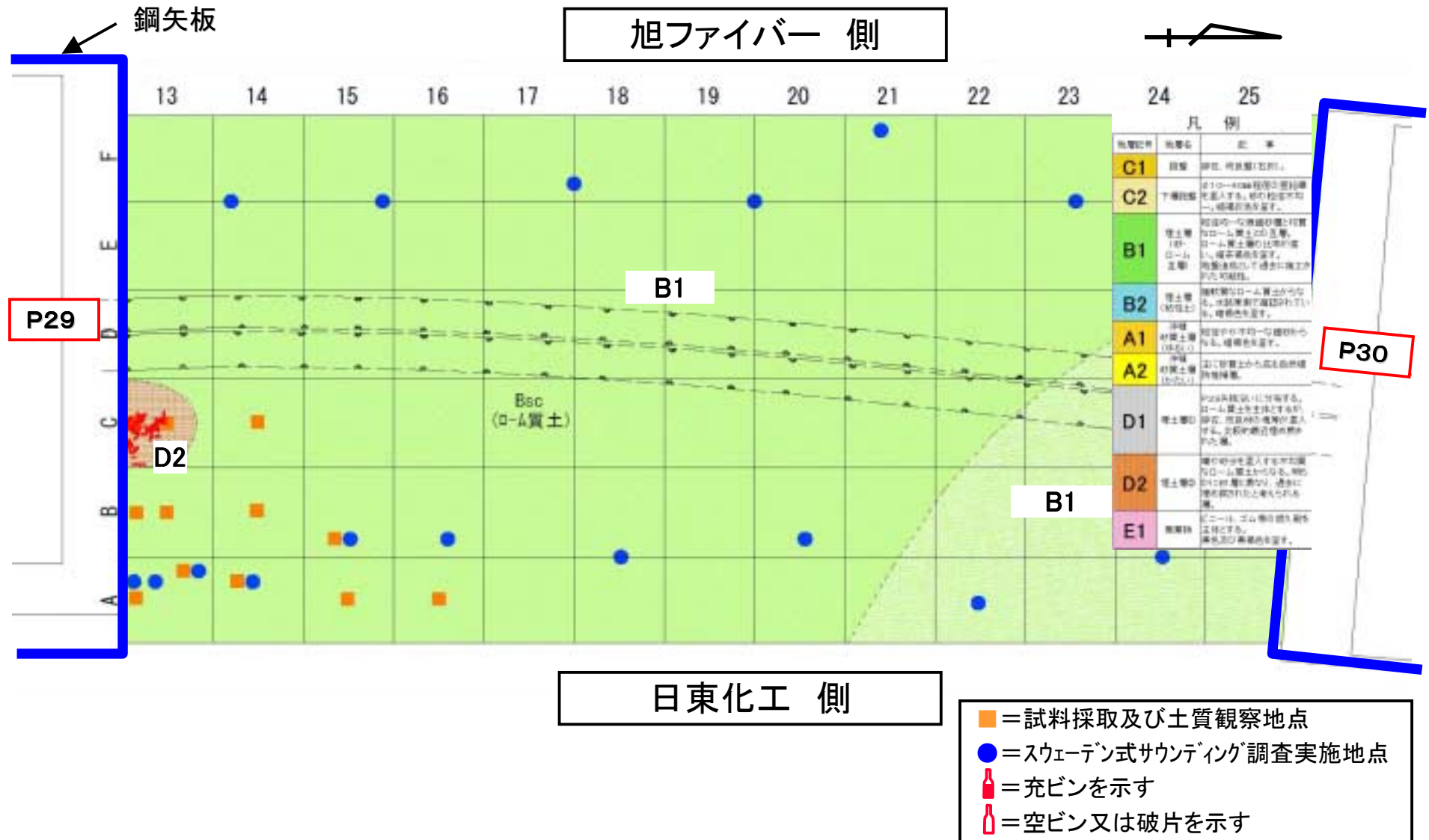
# (1)ー③北側ブロック(P29~P30区間)の土質

## ■地質平面図(推定)GL-1.5m



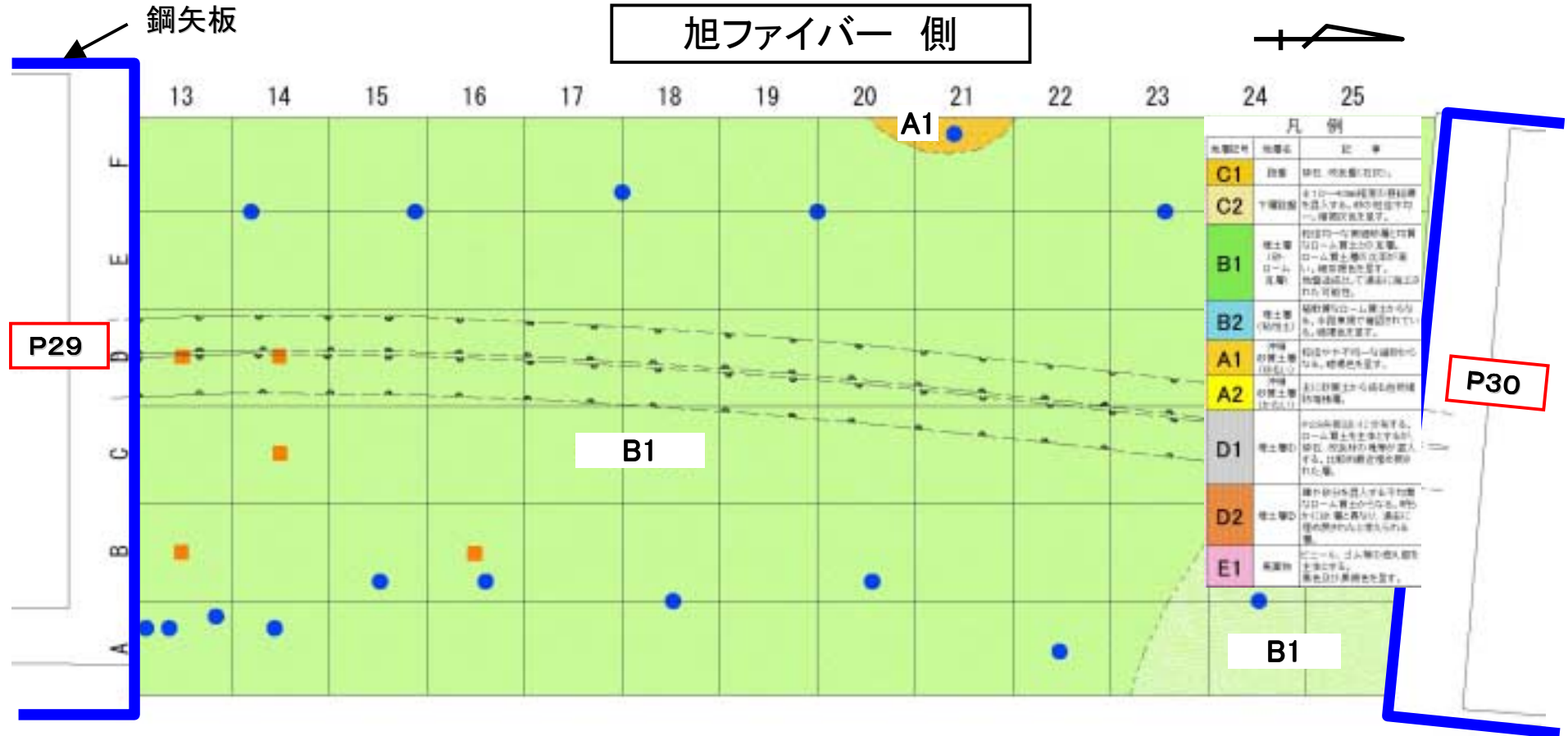
# (1)一③北側ブロック(P29~P30区間)の土質

## ■地質平面図(推定)GL-1.8m



# (1)ー③北側ブロック(P29~P30区間)の土質

## ■地質平面図(推定)GL-2.1m

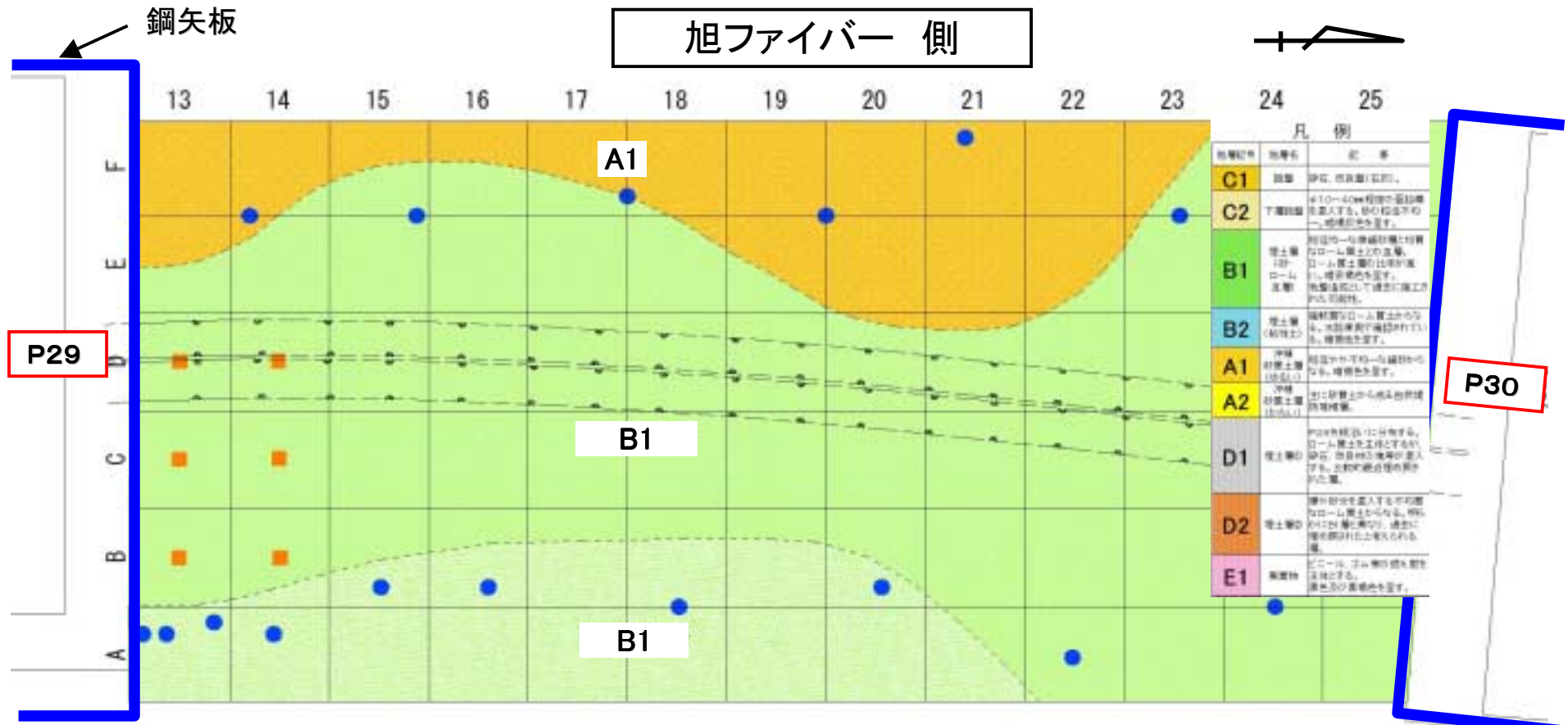


- = 試料採取及び土質観察地点
- = スウェーデン式サウンディング調査実施地点
- 🍷 = 充ビンを示す
- 🍷 = 空ビン又は破片を示す



# (1)ー③北側ブロック(P29~P30区間)の土質

## ■地質平面図(推定)GL-2.4m

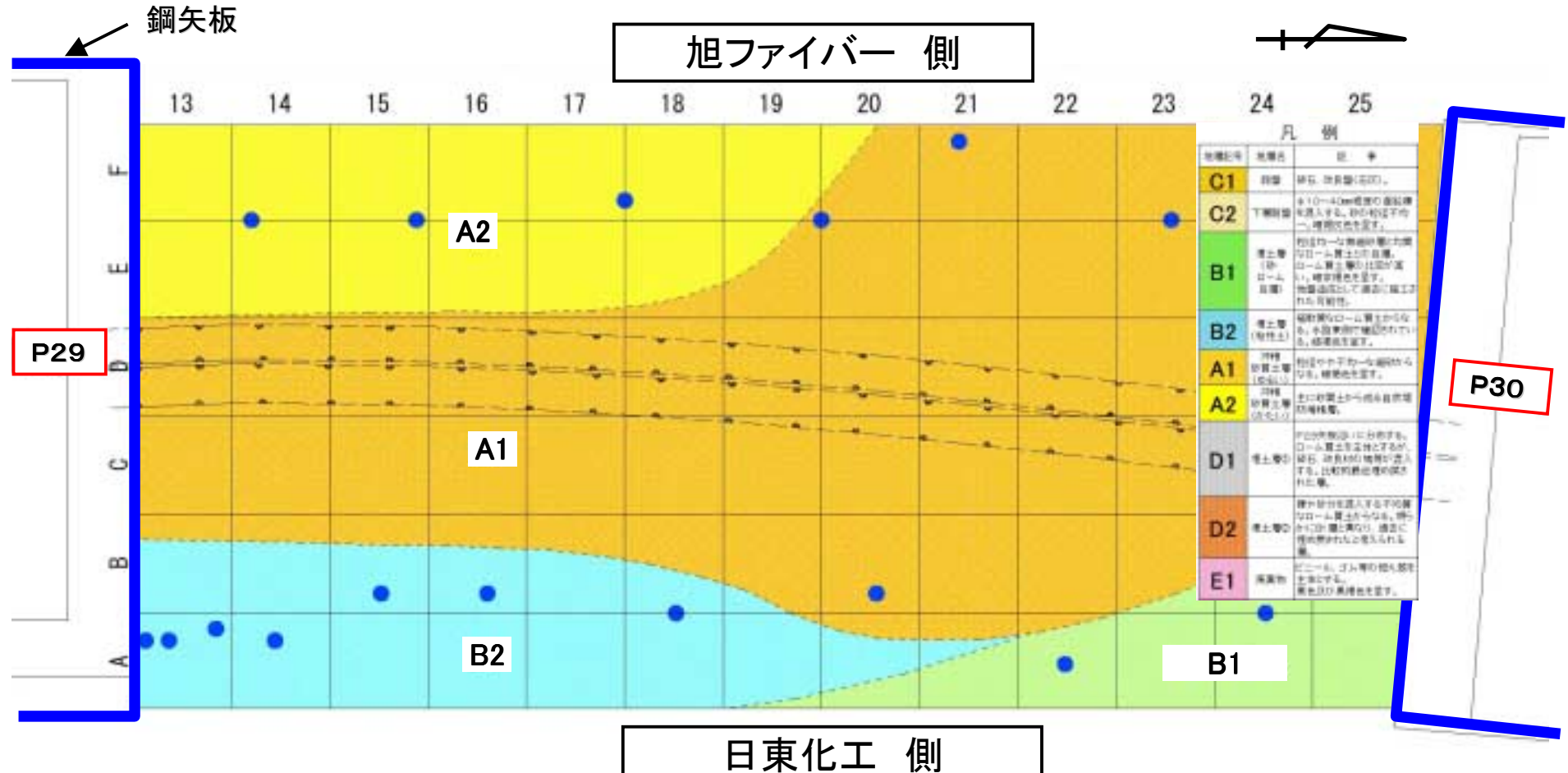


日東化工 側

- = 試料採取及び土質観察地点
- = スウェーデン式サウンディング調査実施地点
- 🚰 = 充ビンを示す
- 🚰 = 空ビン又は破片を示す

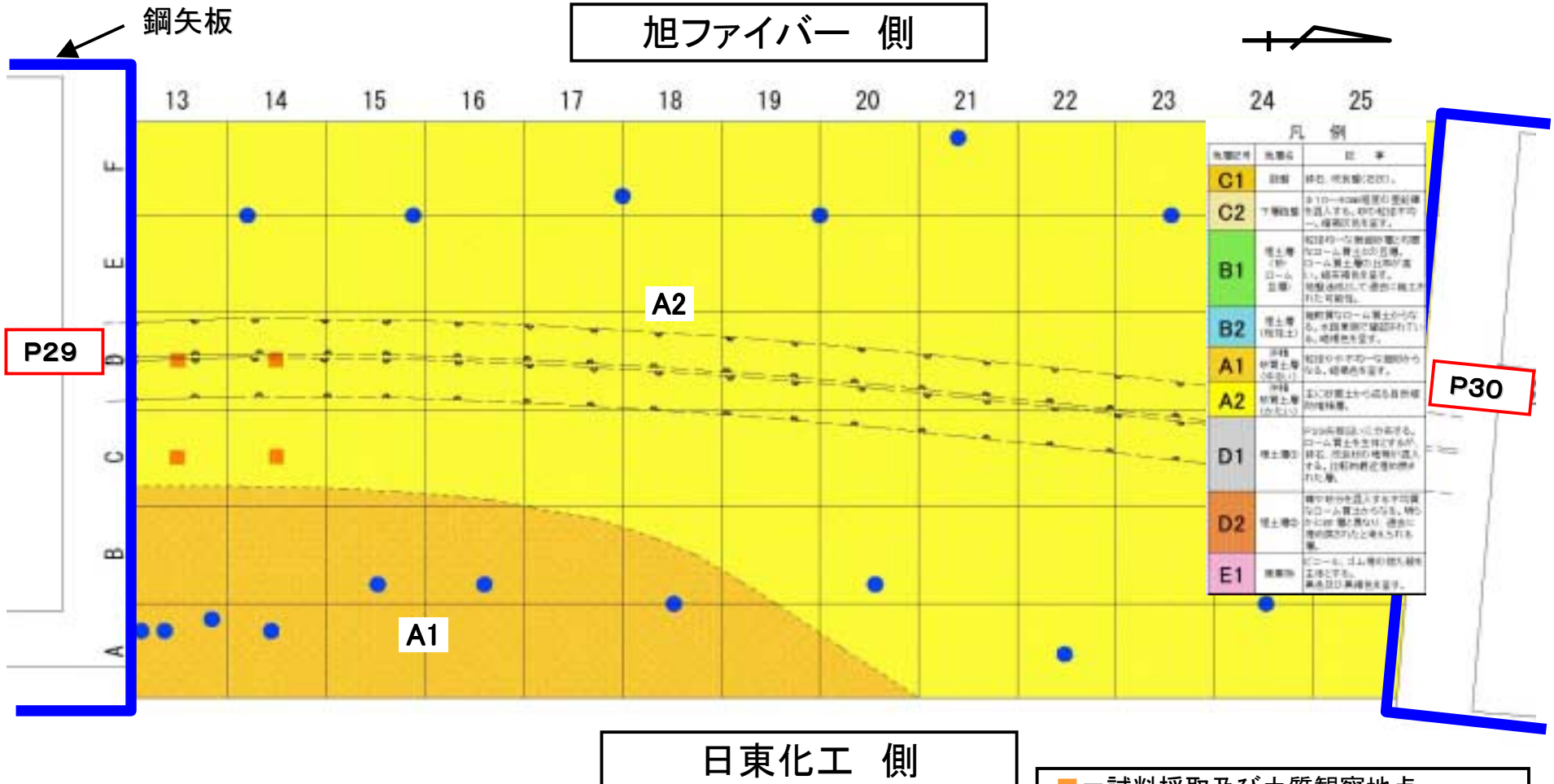
# (1)一③北側ブロック(P29~P30区間)の土質

## ■地質平面図(推定)GL-2.7m



# (1)一③北側ブロック(P29~P30区間)の土質

## ■地質平面図(推定)GL-3.0m



凡 例		
地層記号	地層名	注 意
C1	砂層	砂粒、砂質粘土等。
C2	中層砂層	300~400mm程度の塊状物を混入する。砂の粒径平均値、標準偏差を要す。
B1	粘土層 (砂・ローム混入)	粘粒の多い無砂状層の硬質ローム質土の層。ローム質土層の上部が腐植質層を要す。地層記号によって適切な地層名を要す。
B2	粘土層 (腐植土)	腐植質の多いローム質土の層。水浸状態で確認された。地層記号を要す。
A1	砂層 (砂質土)	粘粒の少ない中層砂層。標準偏差を要す。
A2	砂層 (砂質土)	土中にローム土からなる腐植質の塊状物を要す。
D1	粘土層	粘粒の多い中層砂層。ローム質土を混入する。砂粒、泥状物の混入を要す。土質記号を要す。
D2	粘土層	腐植質を混入する中層砂質ローム質土の層。砂粒、泥状物の混入を要す。土質記号を要す。
E1	腐植層	ローム、腐植質の混入を要す。標準偏差を要す。

- = 試料採取及び土質観察地点
- = スウェーデン式サウンディング調査実施地点
- 🍷 = 充ビンを示す
- 🍷 = 空ビン又は破片を示す

## (1)ー④北側ブロック(P29～P30区間)の掘削調査結果

### ■土質調査結果(更なる埋設箇所の推定)

1. 掘削調査を実施しながら土の状況を確認。  
(不審物発見エリアは深度3.0m、その他は深度1.5m程度)
2. 更なる不審物の埋設は無し。
3. 不審物(充ビン)が発見された範囲は全て
  - 1) D1層：鋼矢板設置時に、P29橋脚工事の掘削土により埋め戻された層(碎石、改良材の塊が混入)
  - 2) D2層：広く分布するB1層と明らかに異なる過去に埋め戻されたと考えられる層(碎石や砂分が不均質に混入)
4. 深度1.5mで北側ブロック(P29～P30区間)の全域でB1層(粒径均一な微細砂層と均質なローム質土の互層)が露出。  
詳細な観察の結果、D1もしくはD2に類するような土の分布は無し。

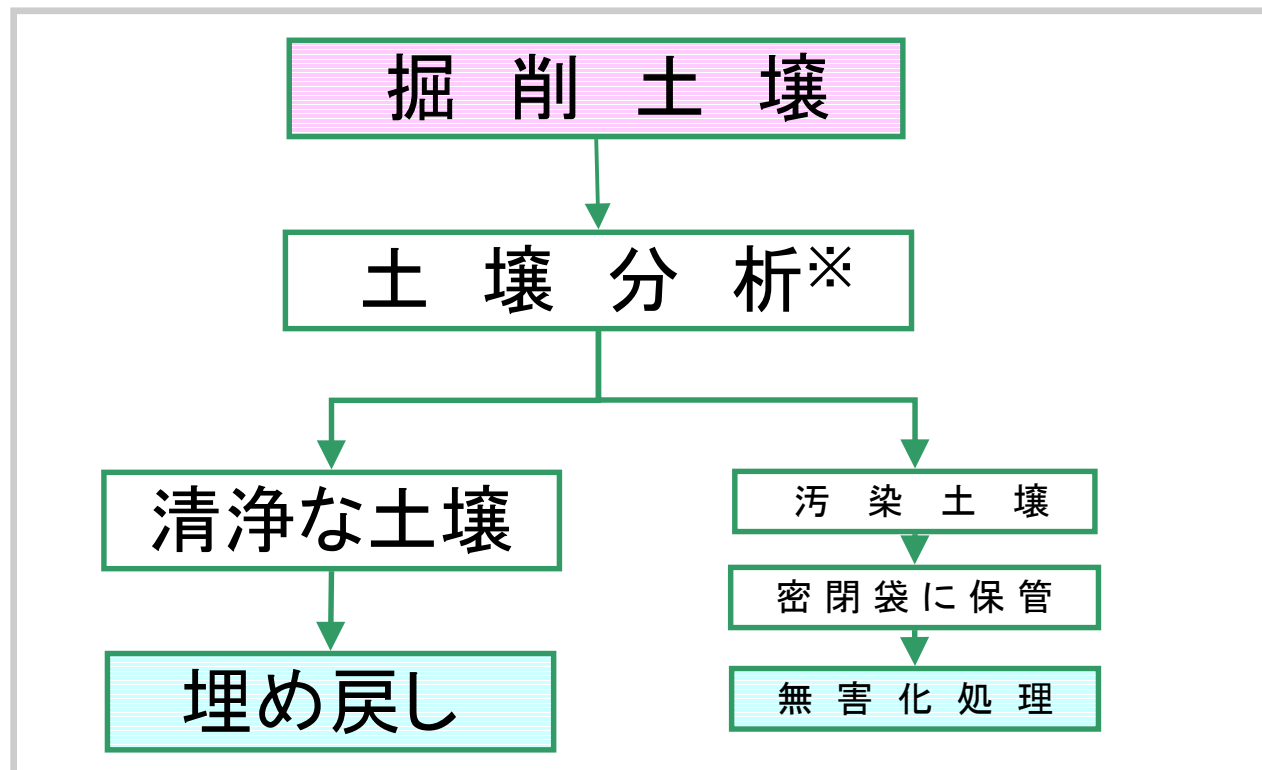
→北側ブロック(P29～P30区間)には更なる不審物の埋設は無く、掘削調査は終了。

# (1)―⑤掘削土壌の取扱い

## ■掘削土壌の方針

掘削調査により発生した掘削土については、マスタード等による汚染を確認し、汚染がみられない清浄な土壌については橋脚工事現場内に埋め戻します。汚染が確認された土壌については、密閉袋に保管し、掘削調査完了後、無害化処理設備で完全に無害化します。

## ■掘削土壌の処理フロー



※(財)化学物質評価研究機構

# (1) — ⑤ 掘削土壌の取扱い

## ■掘削土壌の分析方法

分析機関 : (財)化学物質評価研究機構

分析方法 : 溶媒抽出法及び誘電体化法でGC-MS、GC-FPDにより分析

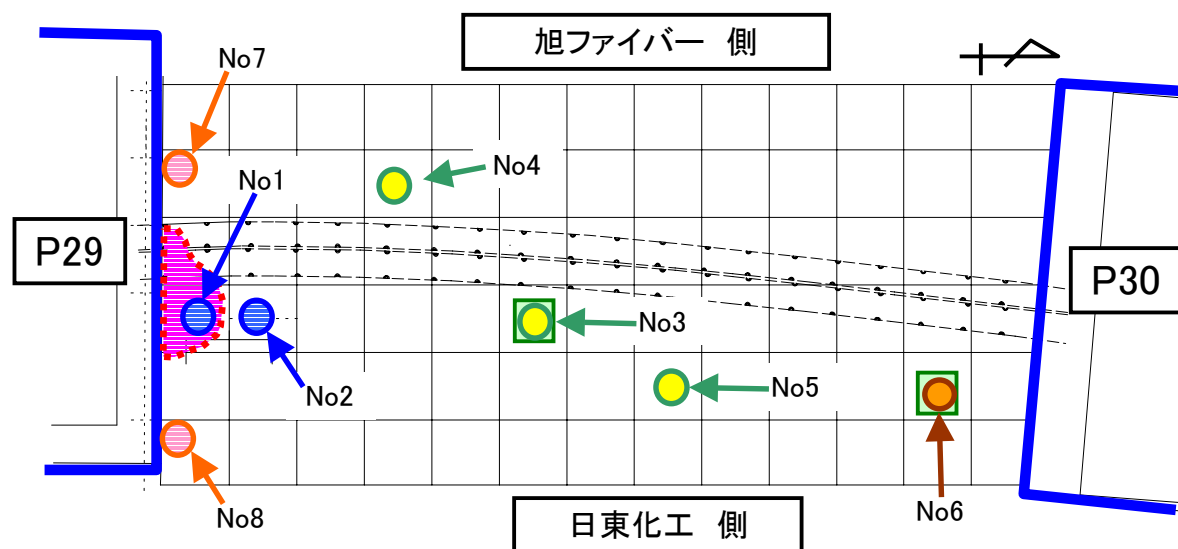
分析場所 : ①サンプリング配置 → 各橋脚間に2箇所を基本

+

不審物等発見範囲

②サンプリング深度 → 表層下0.5mから0.5m毎

## ■北側ブロック(P29～P30区間)の掘削土壌分析箇所



- No1: 不審物発見範囲
- No2: 不審物発見範囲近接地
- No3: 空瓶発見箇所
- No4: 基本の2箇所
- No5: 基本の2箇所
- No6: 破片発見箇所
- No7: P29掘削により埋め戻された範囲
- No8: P29掘削により埋め戻された範囲

■: 不審物分布エリア

□: 空瓶及び破片発見箇所

●: 深度0.5mから深度3mまで0.5m毎の6深度の土壌を分析 (No1はGL-0.5mの試料採取が困難であったため5検体)

●: 深度0.5mから深度1.5mまで0.5m毎の3深度の土壌を分析

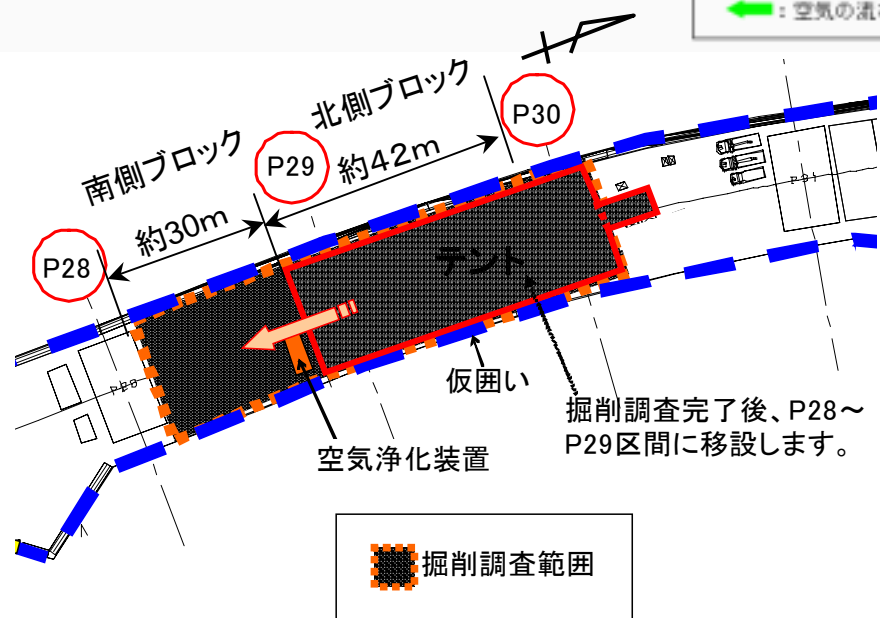
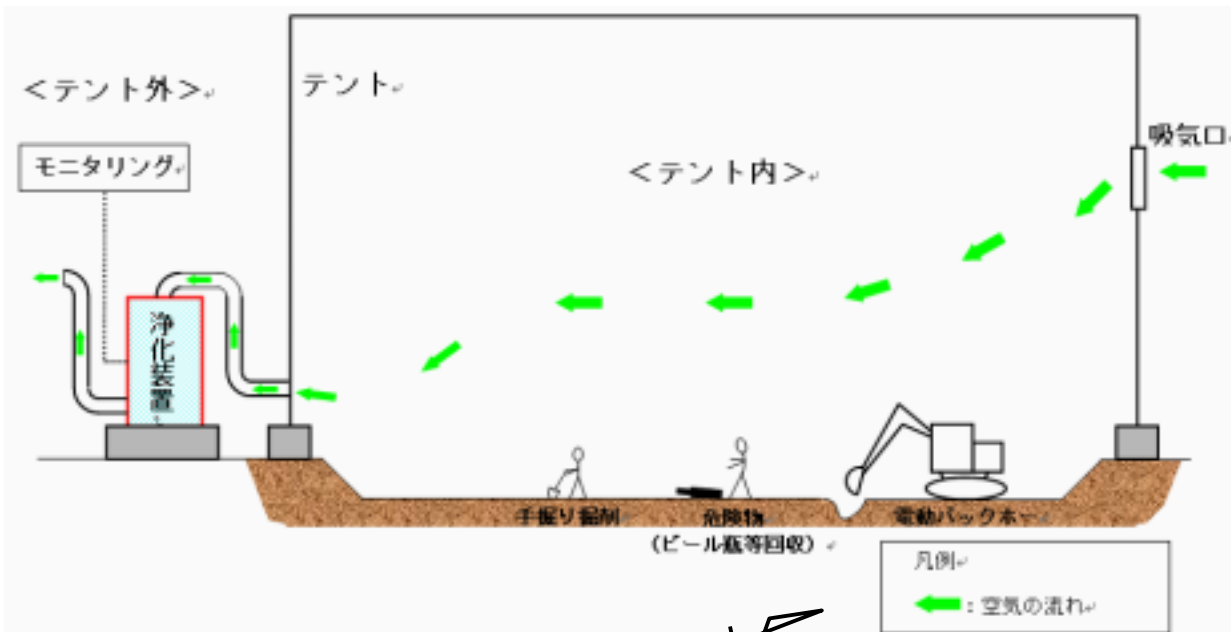
●: 深度0.5mの1深度

●: 深度0.5mから深度1mまで0.5m毎

※南側ブロック(P28～P29区間)についても必要数(10検体程度)、土壌分析を実施します。

全体計25検体

# (1)ー⑥テント排気のモニタリング(橋脚工事現場)



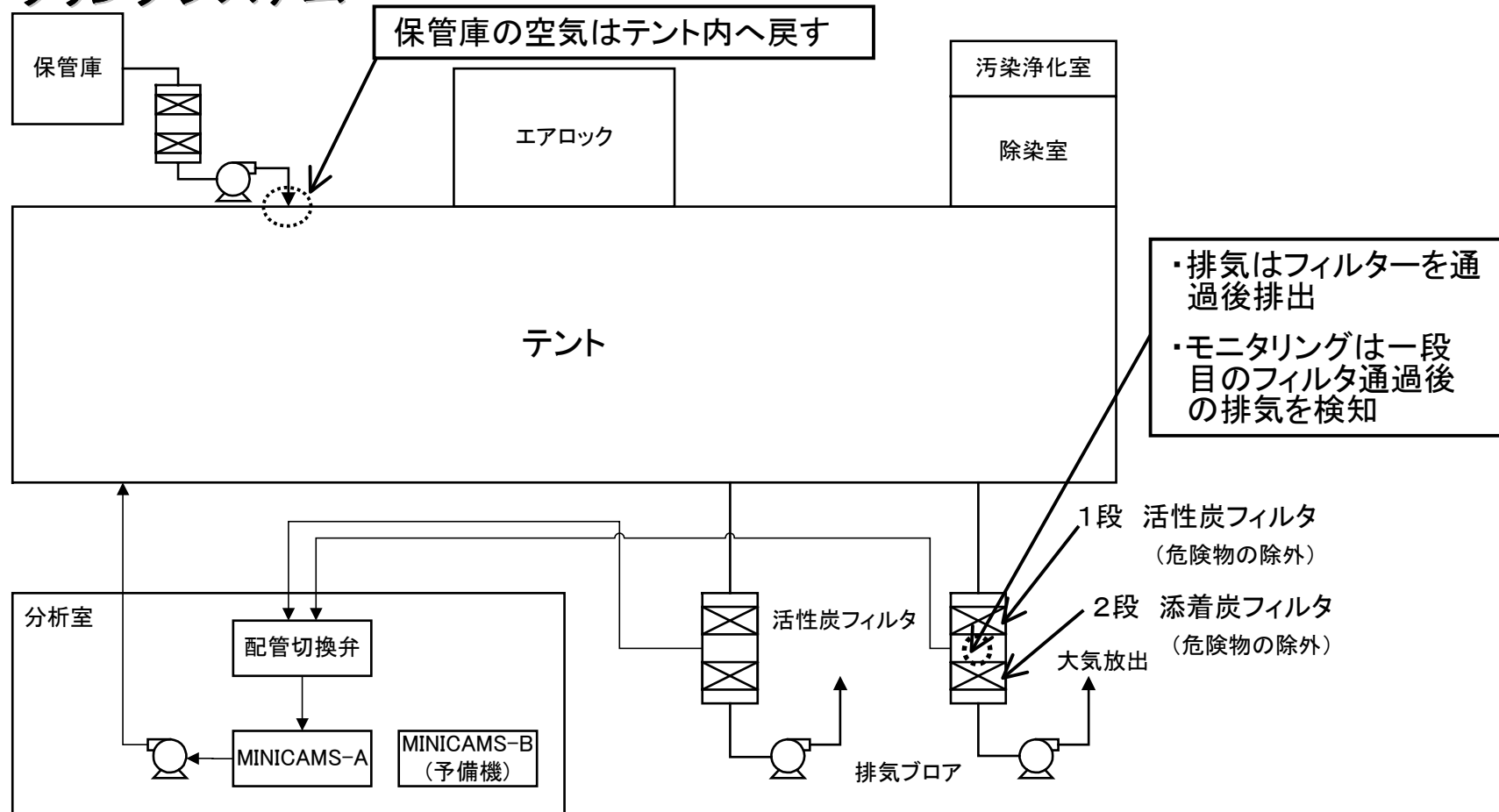
掘削調査は、テント外へ排出する空気の浄化装置を稼働させた状態で実施しています。

浄化装置を経由してテント外へ排出する空気について、モニタリングを行っており、その結果は、橋脚工事現場前の掲示板や横浜国道事務所のホームページでお知らせするとともに、寒川町等の関係機関へも情報提供しています。

※これまでに、テント外へ排出する空気から、マスタード等の危険物は検知されていません。

# (1)一⑥テント排気のモニタリング(橋脚工事現場)

## ■モニタリングシステム



- ・モニタリングシステムにおいてマスタードガスが検知された場合は直ちにブロアを停止し、フィルタの交換を実施
- ・万一、検知機器(MINICAMS-A)が故障した時は、予備機(MINICAMS-B)に切り替えて測定を継続





## (2) 掘削残土仮置き場(田端)の状況について

## (2)ー①分離作業の状況

掘削残土仮置き場では、平成15年10月23日(木)より、汚染残土とその中に含まれる可能性のあるビール瓶等の危険物分離作業(機械掘削・吸引+人力掘削・移送)を行っています。なお、分離作業中に発見された不審物(ビール瓶等)は、テント内に設置した空気浄化装置付き保管庫に回収・保管しています。



機械掘削・吸引の状況



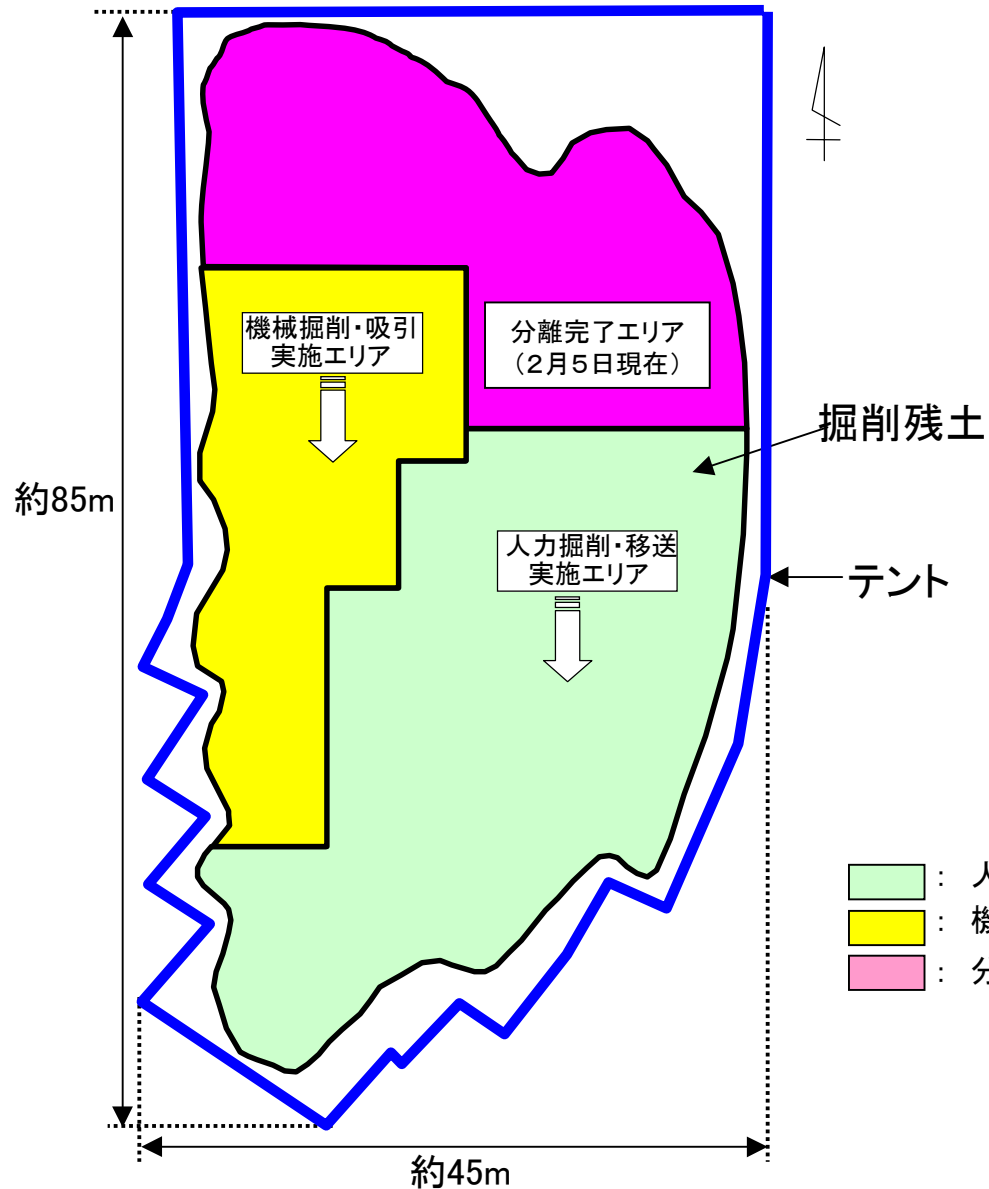
人力掘削・移送の状況



掘削残土仮置き場の状況(平成15年11月26日撮影)

## (2)－①分離作業の状況

(掘削残土の平面図)



### ■分離作業の作業方針

汚染残土と危険物の分離作業は、遠隔操作による機械掘削・吸引により行う。機械掘削が困難な残土については、作業員の安全に最大限配慮しながら、人力掘削を併用。

## (2)ー①分離作業の状況

### ■ 人力による掘削・移送を行うための安全対策

#### ① 作業環境の監視

- ・ 人力による作業は、完全防護服着用のうえ実施。
- ・ 作業中は、常時作業エリアのマスタードガス等のモニタリングを実施。
- ・ 作業終了後は、除染・水洗いを十分に実施。

#### ② 作業場所の分離

- ・ 機械掘削場所と人力掘削場所を高さ5mのネット状の隔壁で分離。

#### ③ 監視体制の強化

- ・ 安全管理を行うための管理責任者を常時配置するとともに、ITVカメラにより作業状況を監視等。
- ・ 安全マニュアルの整備。
- ・ 消防署、病院との連携。

## (2) — ① 分離作業の状況

### ■ 人力による掘削・移送を行うための安全対策(状況写真)



①作業環境の監視  
上:作業環境の監視状況  
中:検知器  
下:エアシャワー



①作業環境の監視  
除染(奥)・水洗い(手前)

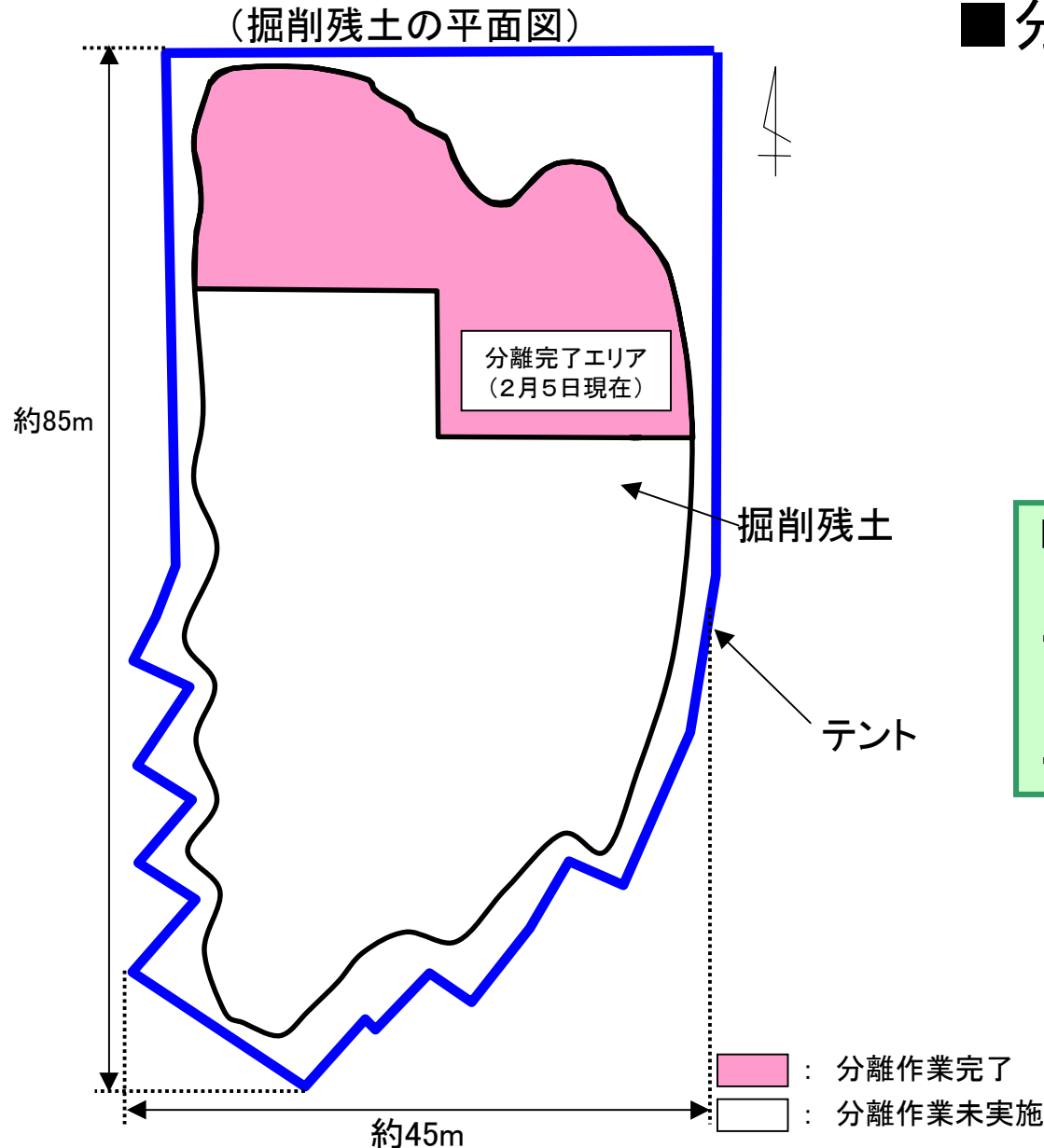


②作業場所の分離  
(ネット状の隔壁:高さ約5m)

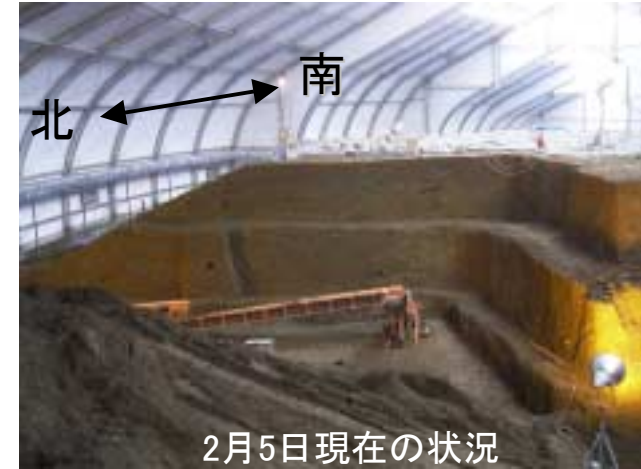


③監視体制の強化  
(ITVカメラによる作業の監視)  
上:オアシスでの作業監視  
下:施工者事務所での作業監視

## (2)一②分離作業の状況



### ■分離作業の進捗状況



#### ■分離作業の進捗状況

(平成16年2月5日現在)

- ・作業の進捗率: 約31%  
(全体約6,500m<sup>3</sup>のうち約2,000m<sup>3</sup>完了)
- ・不審物の本数: 21本

この作業は、3月の終了を目途に、24時間連続(日曜日[朝]～月曜日[朝])を除く)して実施し、汚染残土や発見された場合のビール瓶等の危険物は、今後建設される処理施設において処理します。

作業進捗率は、平成16年1月24日～1月28日に実施した測量値(実測値)を基に算出。

## (2)一②発見された不審物

### ■発見された不審物一覧

平成16年2月5日現在

内容物の状態	内容物の色	本数	備考
固形物	白色	1	ビンの一部が破損
	灰色	1	
液体	黒色	14	
	透明(黒色沈殿物)	2	黒い固形物が混入
	黄色	1	
	黒色	2	内容物が2層に分離
	透明・薄茶色等		

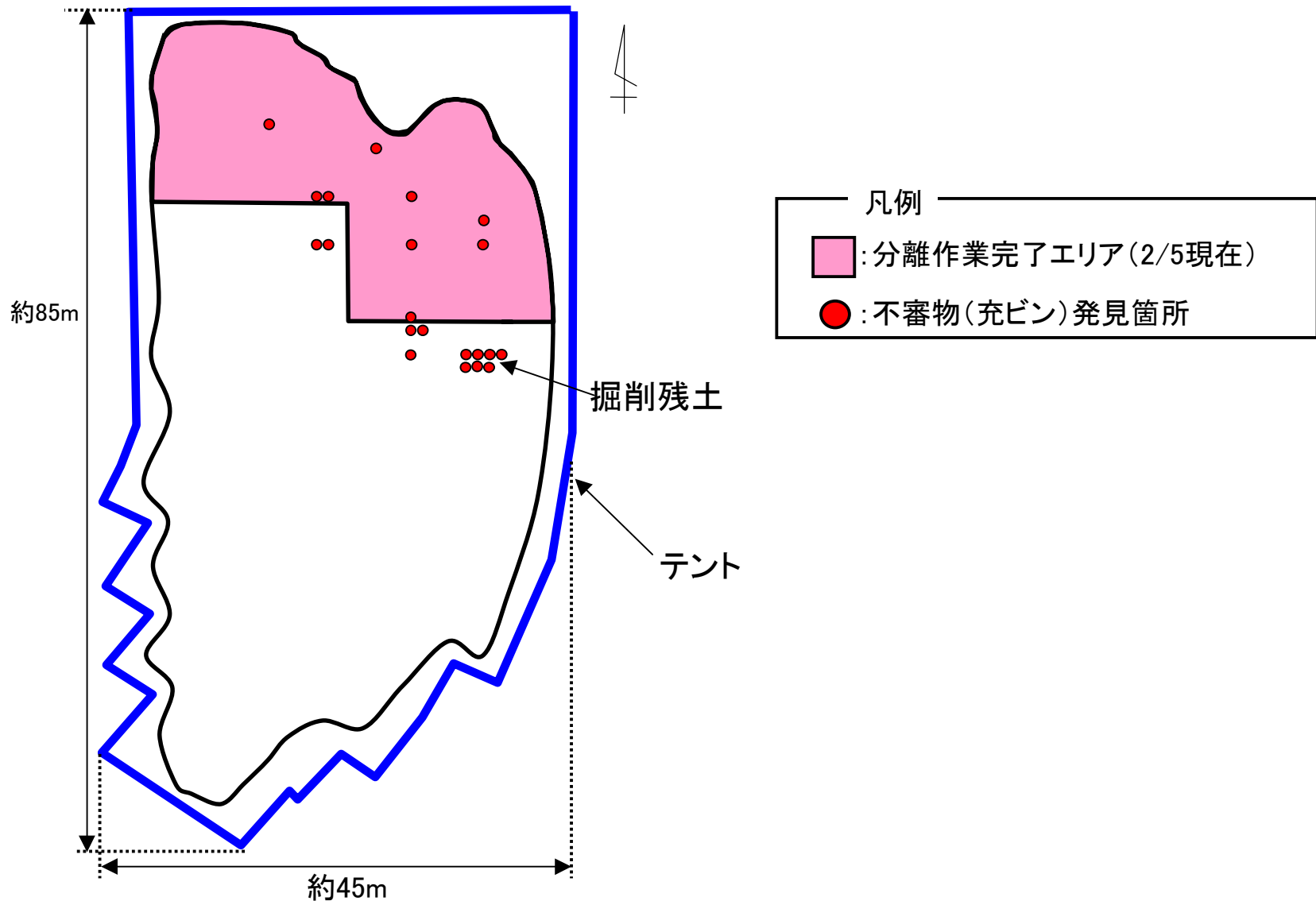
計:21本

※分離作業開始(H15年10月23日～)

- ・不審物(充ビン)の21本はビール瓶。
- ・不審物(充ビン)の内15本はゴム状の栓等で密閉。6本は栓無し。

## (2)一②発見された不審物

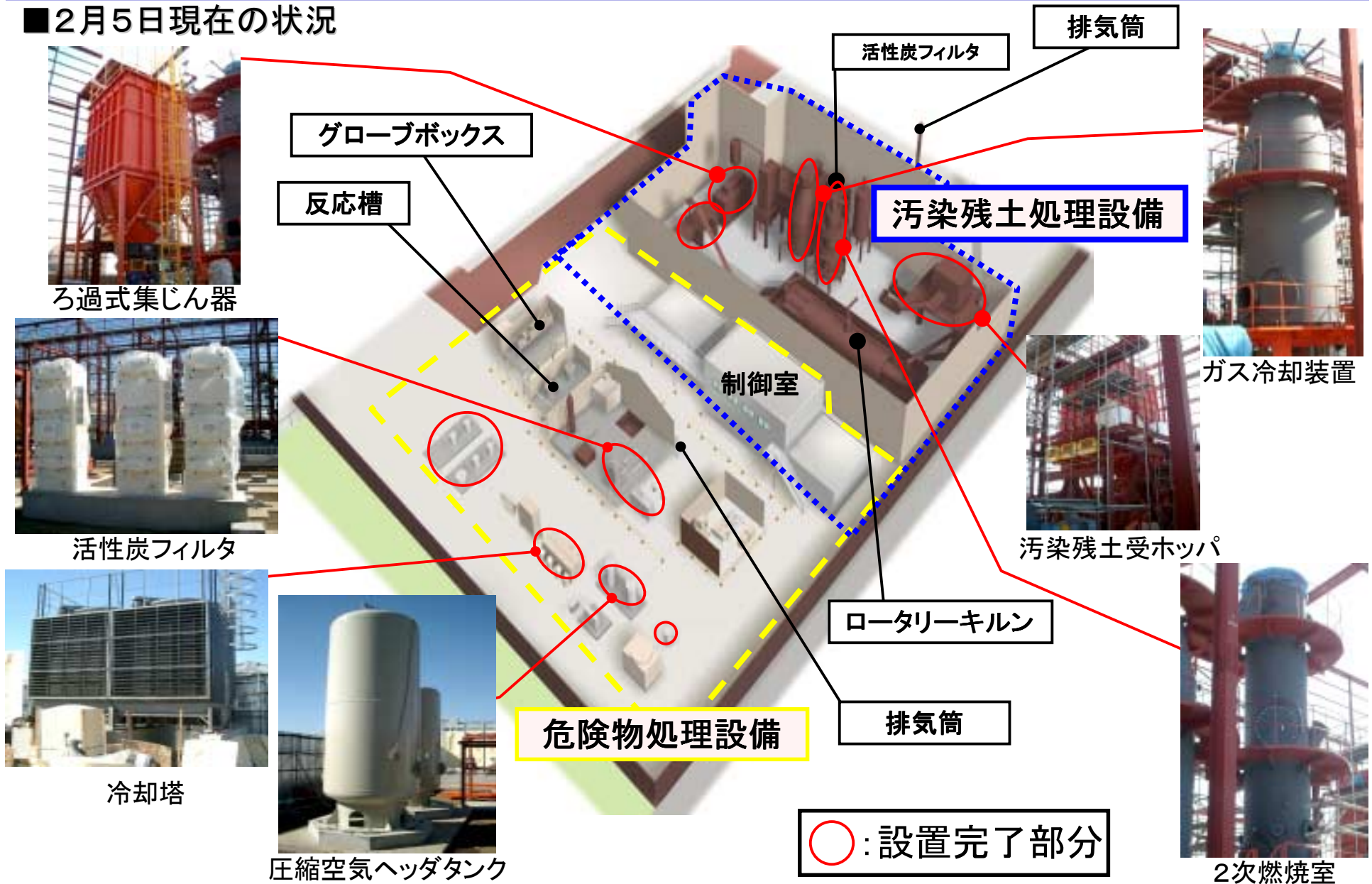
### ■不審物発見範囲





# (2)一③無害化処理設備の状況

■2月5日現在の状況

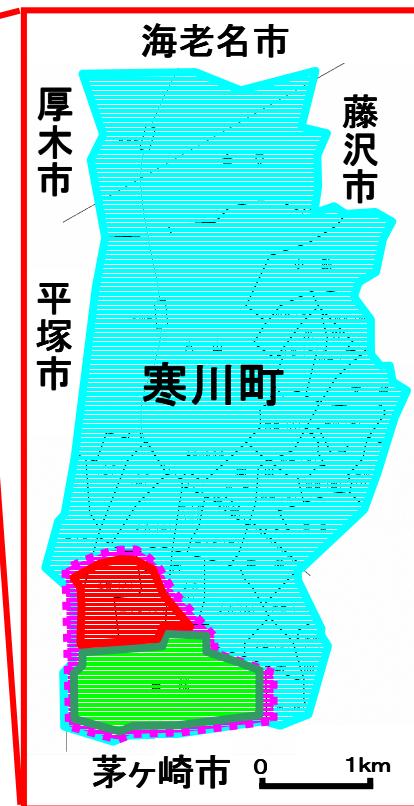




## (3) その他

# (3) — ① 広報について

## ■ 広報紙及び住民説明会



- ① **田端地区** → 広報紙: 直接各戸配布(約500部)3回  
地元説明会: 3回開催
- ② **一之宮地区** → 広報紙直接各戸配布(約1,100部)1回  
地元説明会: 1回開催
- ③ **一之宮地区 + 田端地区** → 広報紙: 直接各戸配布  
(約1,600部)2回
- ④ **周辺4自治会** → 広報紙: 各自治会の手により配布(約2,500部)5回
- ⑤ **寒川町全域** → 広報紙: 寒川町の広報紙「広報さむかわ版」に折り込んで配布(約15,000部)15回  
地元説明会: 2回開催

※情報コーナーにおいても広報紙等を常備

# (3) — ① 広報について

広報たかわ版第14号 さがみ縦貫道路 危険物への対応  
平成15年11月1日

平成15年10月23日までの情報をお知らせしています。

発行編集：国土交通省横浜国道事務所、神奈川県国土交通文化財課、横浜府県共同防災センター

・掘削残土仮置き場では、危険物分離関連設備の設置が完了したことから、10月23日(木)より、汚染残土とそこに含まれている可能性のあるビール瓶等の分離作業を行っています。

掘削残土仮置き場の状況について

汚染残土と危険物の分離作業開始

- 掘削残土仮置き場では、危険物分離関連設備の設置が完了したことから、平成15年10月23日(木)より、汚染残土とそこに含まれている可能性のあるビール瓶等の危険物の分離作業を行っています。
- 分離作業は、テント内空気の浄化装置を稼働させた状態で、リモートコントロールにより、圧縮空気で掘削した汚染残土を真空吸引して回収します。
- この作業は、来年3月の終了を日ごとに24時間連続(日曜日[断]～月曜日[断])を除くして実施し、汚染残土や発見された場合のビール瓶等の危険物は、今後建設される処理施設において処理します。

※この分離作業の進捗状況については、横浜国道事務所のホームページにおいて情報提供を行う予定です。



分離作業状況



## ■ 広報紙の主な内容

- ・処理作業の進捗状況
  - ・危険物の発見状況
  - ・安全性の確認状況
  - ・有識者委員会の決定内容
- 等

# (3) — ① 広報について

## ■ホームページでの情報提供



横浜国道事務所ホームページ



区	区画番号	道路種別	危険物名	発見日時	備考
1	0001-01	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-02	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-03	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-04	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-05	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-06	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-07	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-08	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-09	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-10	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-11	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-12	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-13	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-14	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-15	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-16	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-17	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-18	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-19	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-20	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-21	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-22	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-23	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-24	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-25	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-26	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-27	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-28	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-29	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-30	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-31	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-32	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-33	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-34	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-35	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-36	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-37	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-38	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-39	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-40	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-41	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-42	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-43	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-44	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-45	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-46	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-47	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-48	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-49	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-50	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-51	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-52	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-53	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-54	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-55	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-56	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-57	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-58	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-59	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-60	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-61	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-62	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-63	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-64	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-65	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-66	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-67	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-68	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-69	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-70	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-71	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-72	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-73	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-74	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-75	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-76	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-77	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-78	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-79	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-80	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-81	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-82	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-83	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-84	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-85	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-86	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-87	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-88	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-89	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-90	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-91	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-92	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-93	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-94	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-95	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-96	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-97	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-98	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-99	一般国道	不明	2011.01.10	不明
1	0001-100	一般国道	不明	2011.01.10	不明

不審物の発見状況

寒川町一之宮6丁目地先の工事現場で発見された危険物等への対応に関する情報を掲載しています。

横浜国道事務所のホームページ  
 (http://www.ktr.mlit.go.jp/yokohama/)  
 における情報提供